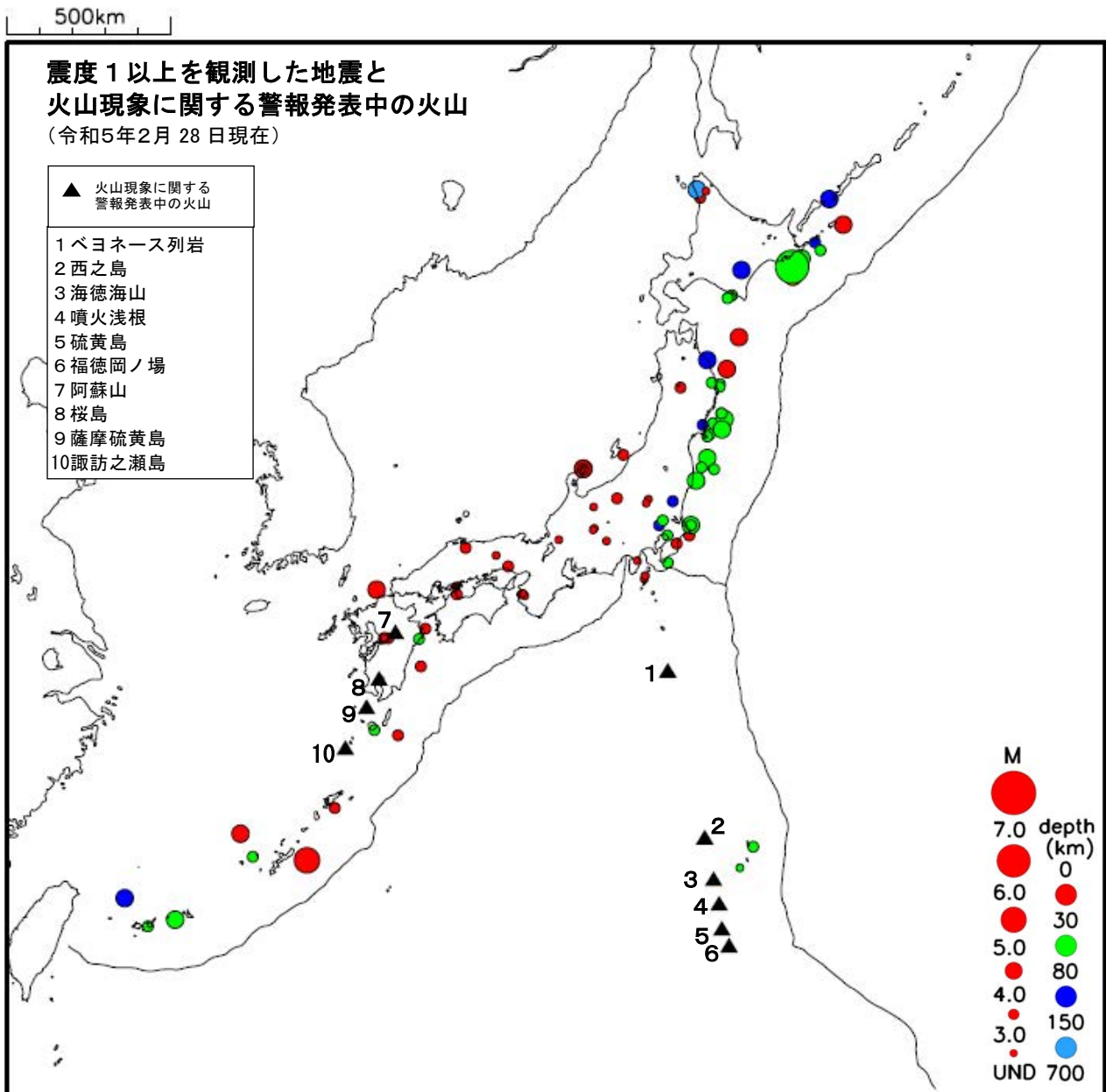


令和5年2月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

February 2023



気象庁

Japan Meteorological Agency

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和5年2月28日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和5年2月28日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N = xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	8
関東・中部地方の地震活動	9
近畿・中国・四国地方の地震活動	11
九州地方の地震活動	12
沖縄地方の地震活動	13
その他の地域の地震活動	14
● 南海トラフ周辺の地殻活動	15
● 日本の主な火山活動	18
北海道地方の火山活動	29
東北地方の火山活動	31
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	33
近畿・中国・四国地方の火山活動	37
九州地方の火山活動	38
沖縄地方の火山活動	42
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	43
● 世界の主な地震	44
● 世界の主な火山活動	45
● 特集 2023年2月6日 トルコの地震	46
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	49
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	60
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数	61
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	62
5. 緊急地震速報の提供状況	64

● 日本及びその周辺での主な地震活動

2023 02 01 00:00 -- 2023 02 28 24:00

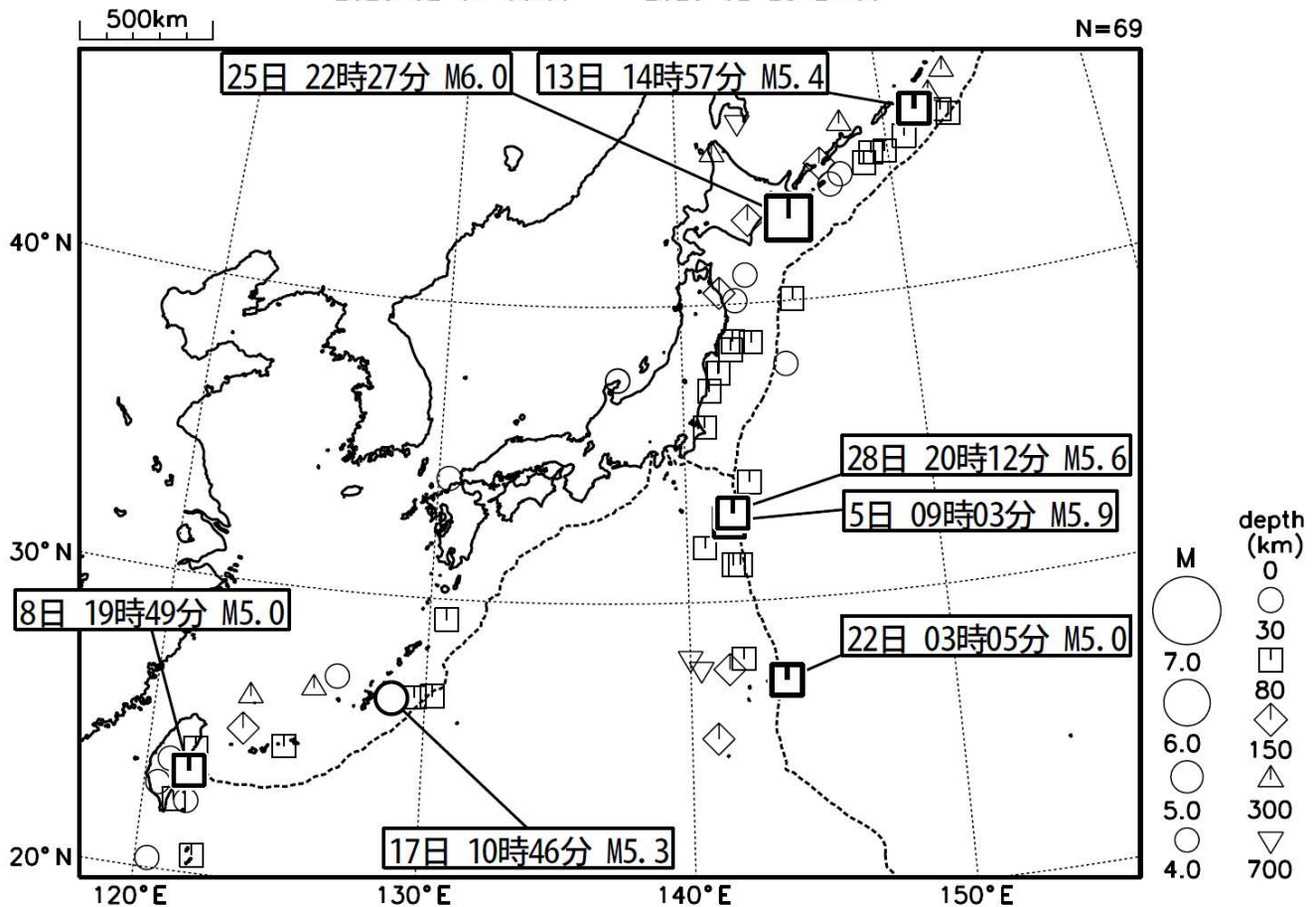


図1 令和5年2月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

2月25日22時27分に釧路沖の深さ63kmでM6.0の地震が発生し、北海道根室市及び標津町で震度5弱を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度4～1を観測した。

令和5年(2023年)2月に日本国内で震度4以上を観測した地震は1回(1月は2回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は69回(1月は73回)であった(図1)。

2月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。2月中に震度5弱以上を観測した地震は1回で、津波を観測した地震はなかった(1月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった)。

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和5年2月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注1) (注2) (注3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw <small>(注4)</small>	M H S T <small>(注5)</small>	最大震度・被害状況等 <small>(注6)</small>	掲載 ページ
1	2 20 3 55	十勝地方中部	4.9	4.8	・ ・ ・ ・	3：北海道 帯広市東4条 帯広市東6条* など1道5地点	6
2	2 25 22 27	釧路沖	6.0	6.1	M ・ S ・	5弱：北海道 標津町北2条* 根室市厚床* など1道4地点 長周期地震動階級1を観測 緊急地震速報（警報）を発表	4、7
3		石川県能登地方の 地震活動			・ ・ ・ ・	2020年12月から続く石川県能登地方の地震活動 2月中に震度1以上を観測する地震が9回 (震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回) <small>(注7)</small>	10

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「-」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) 能登半島沖で発生した地震を1回含む。

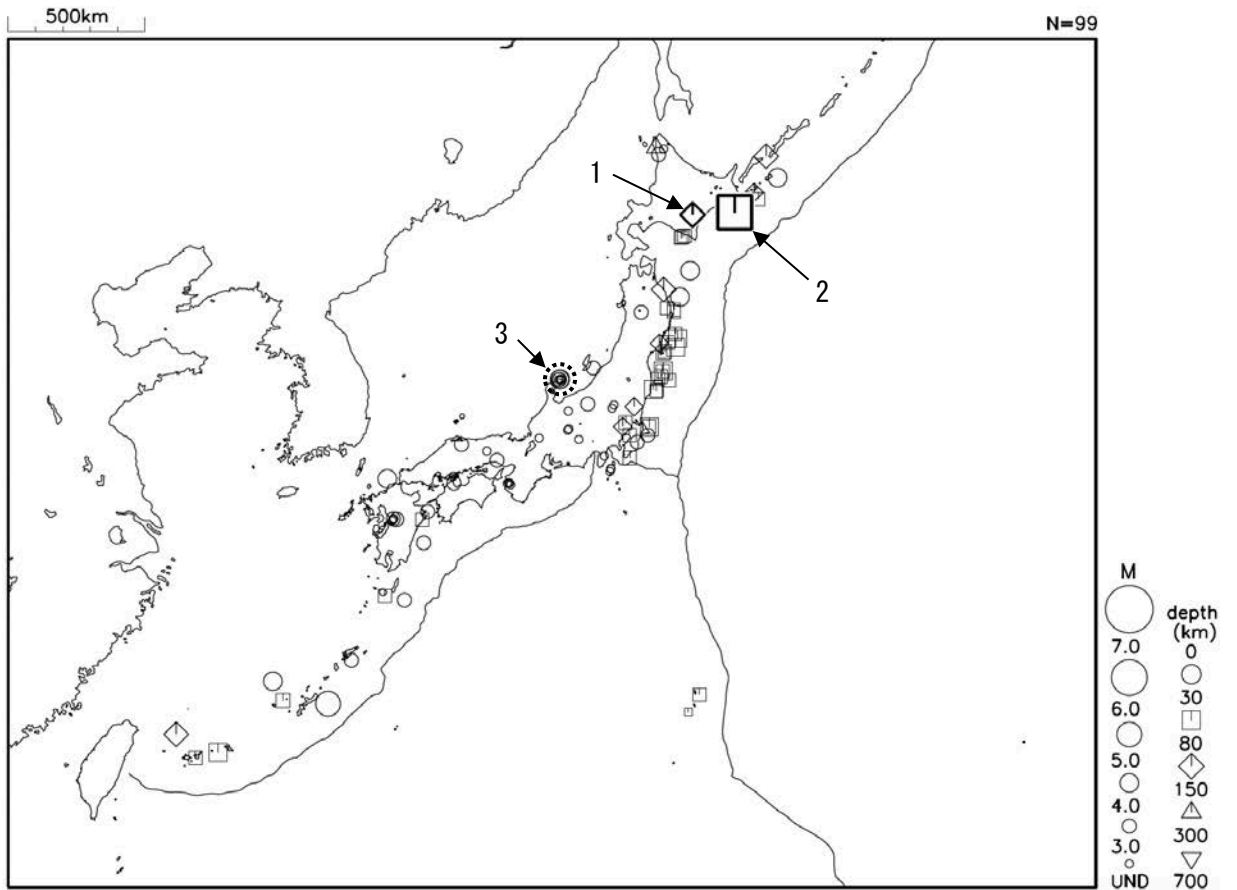


図2 令和5年2月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

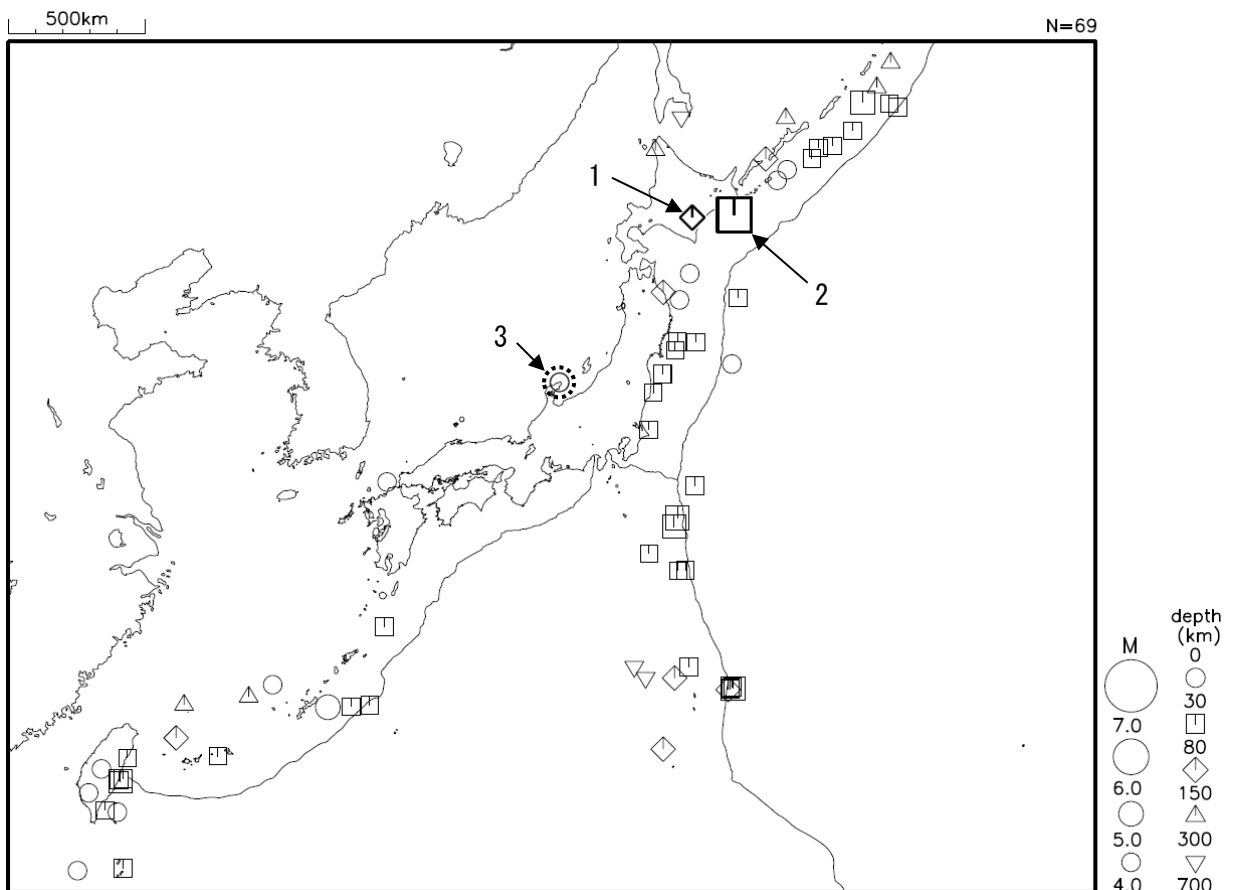
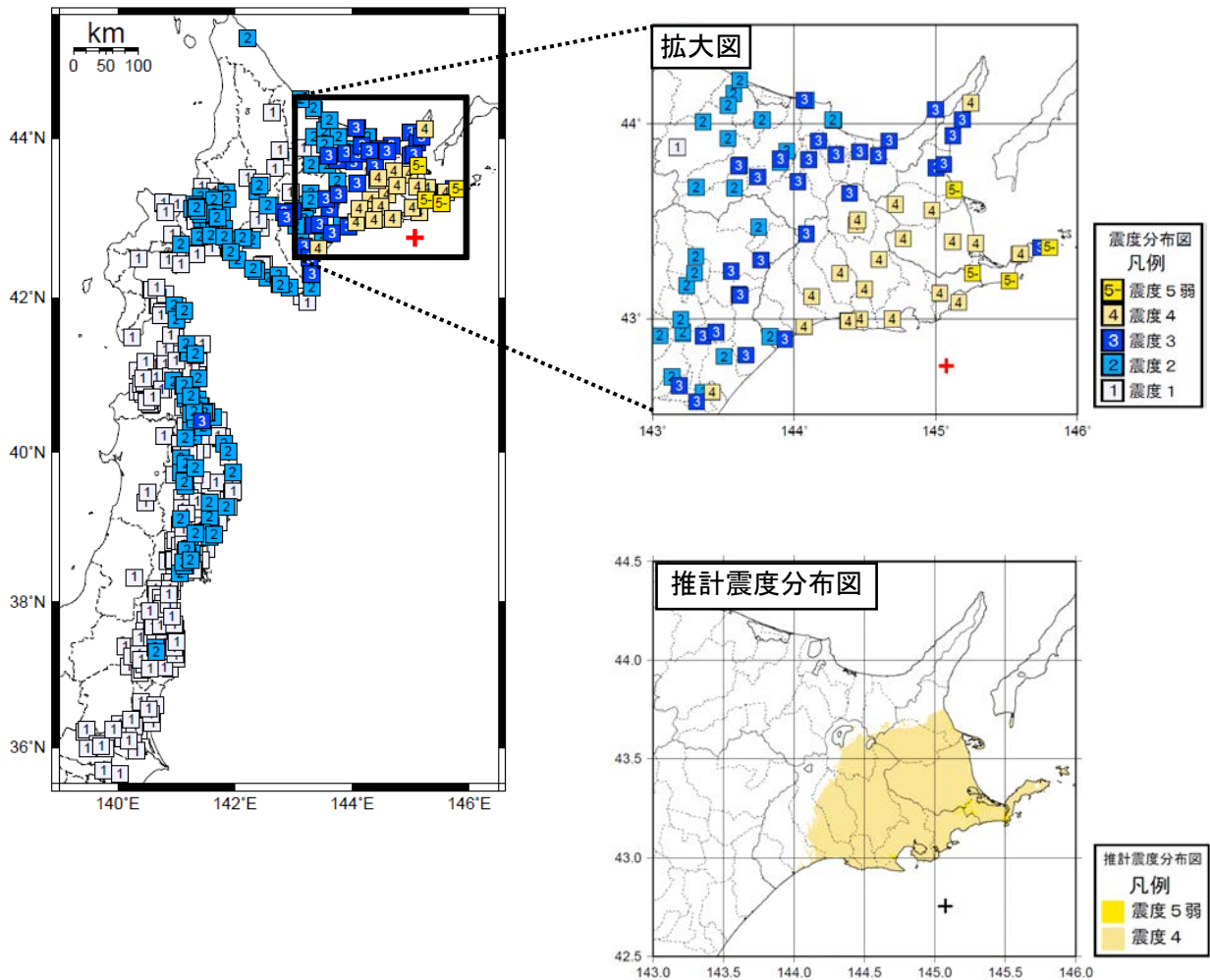


図3 令和5年2月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

2 2月25日22時27分 釧路沖
(M6.0、深さ63km、最大震度5弱)



<推計震度分布図について>
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。
なお、この推計震度分布図は震度の精査後に再作成したものであり、地震発生直後に発表したものとは一部異なる。

図4 震度分布図
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース (<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

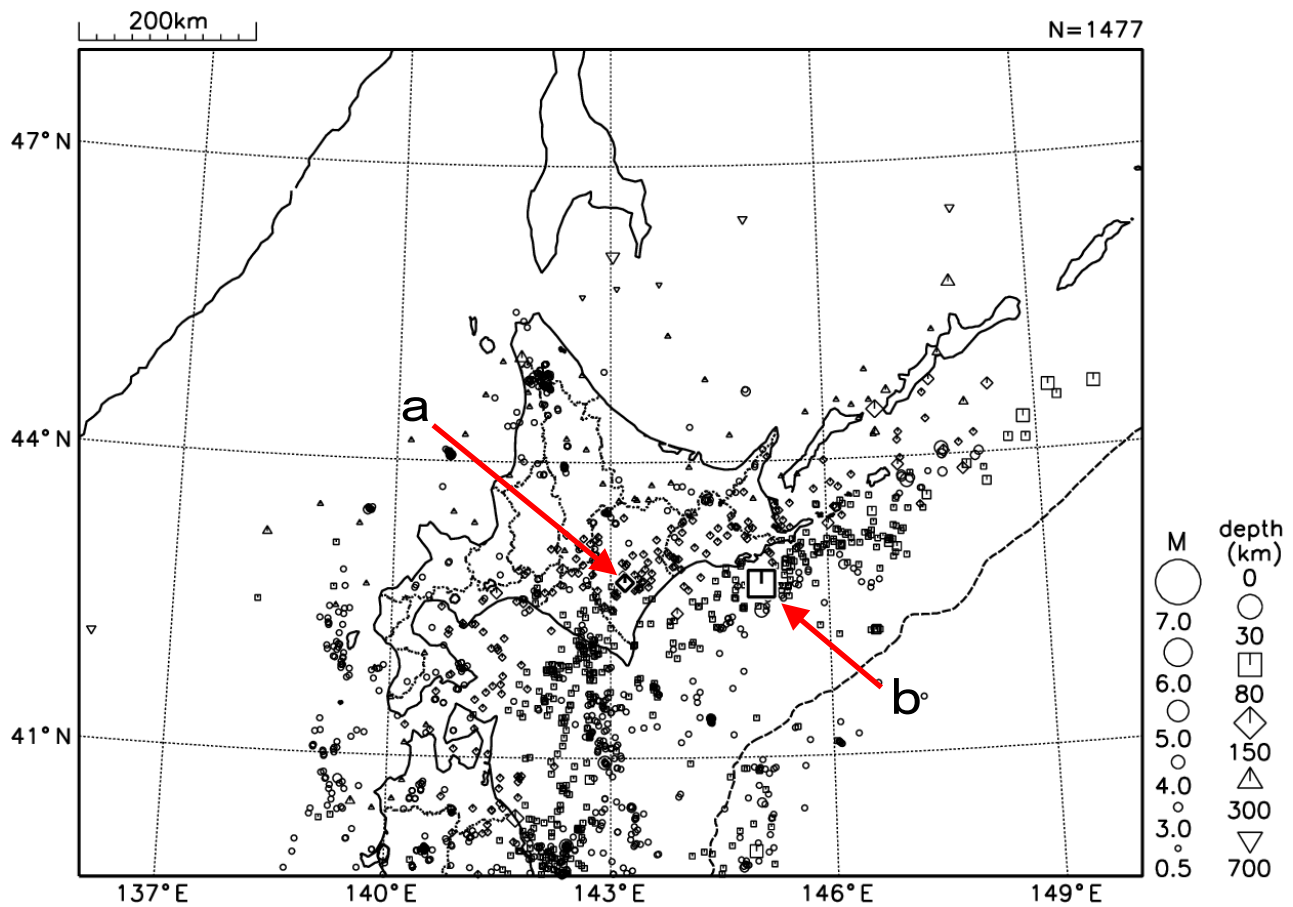


図5 北海道地方の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（1月は18回）であった。2月中の主な地震活動は次のとおりである。

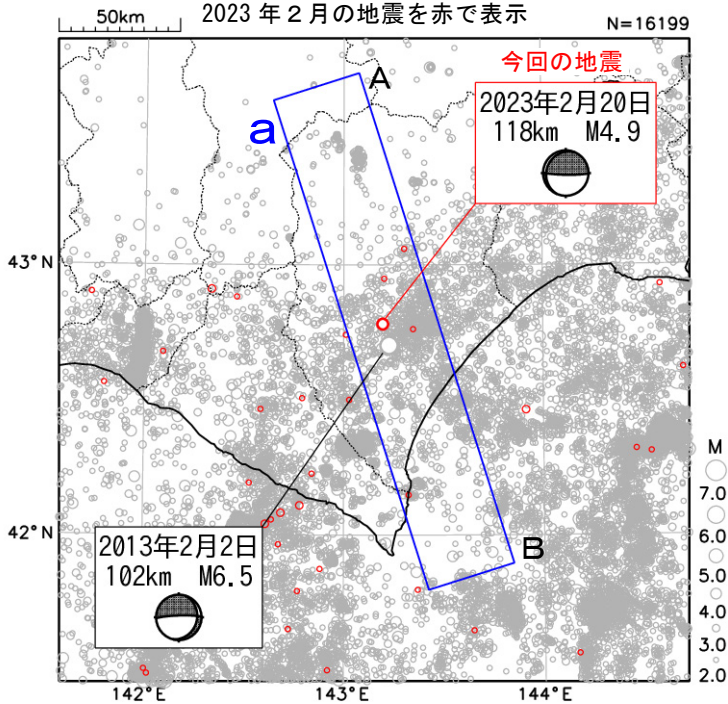
20日03時55分に十勝地方中部の深さ118kmでM4.9の地震（図5中のa）が発生し、北海道の十勝地方で震度3を観測したほか、北海道及び東北地方で震度2～1を観測した（p. 6参照）。

25日22時27分に釧路沖の深さ63kmでM6.0の地震（図5中のb）が発生し、北海道の根室市及び標津町で震度5弱を観測したほか、北海道、東北地方及び関東地方で震度4～1を観測した（p. 4、7参照）。

2月20日 十勝地方中部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2023年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2023年2月の地震を赤で表示

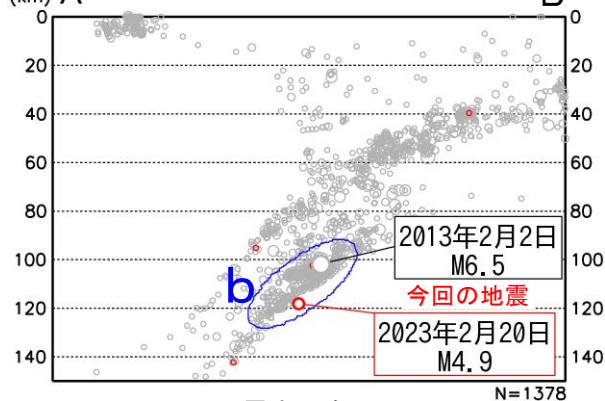


2023年2月20日03時55分に十勝地方中部の深さ118kmで $M 4.9$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は太平洋プレート内部 (二重地震面の下面) で発生した。発震機構は太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型である。

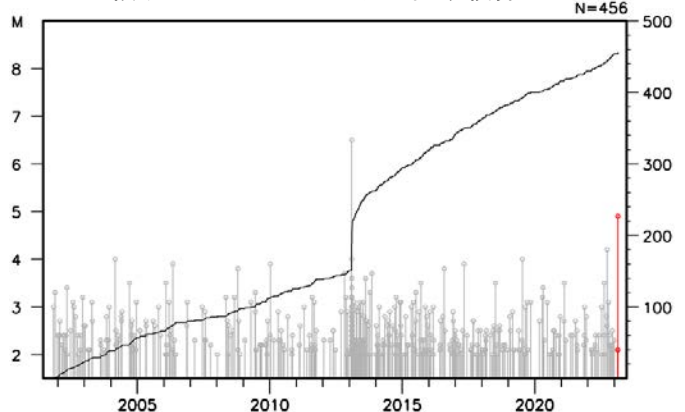
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4.0$ 程度の地震がしばしば発生しているが、 $M 5$ クラス以上の地震は1回しか発生していなかった。2013年2月2日の $M 6.5$ の地震 (最大震度5強) では、負傷者14人、住家一部破損1棟の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が2回発生しており、1987年1月14日の $M 6.6$ の地震 (最大震度5) では、重軽傷者7人、建物破損などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

(km) A 領域a内の断面図 (A-B投影) B

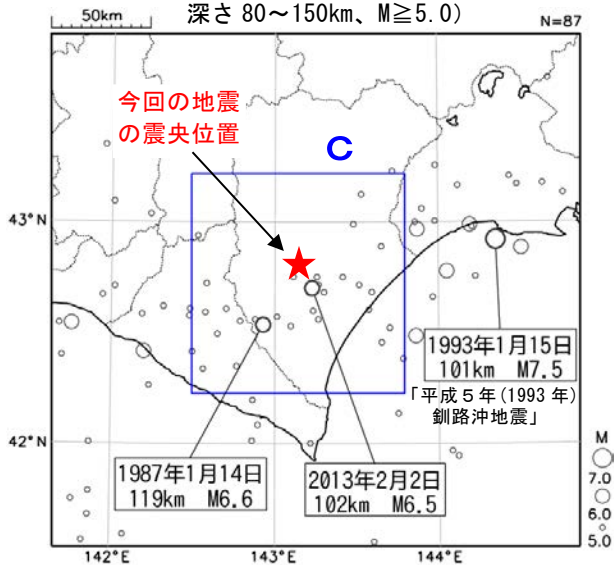


領域b内のM-T図及び回数積算図

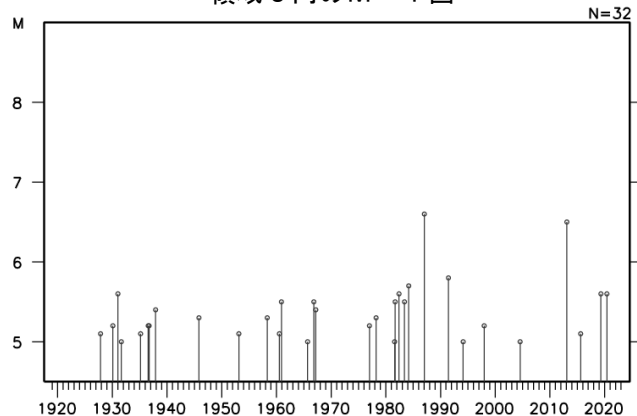


震央分布図

(1919年1月1日～2023年2月28日、
深さ80～150km、 $M \geq 5.0$)



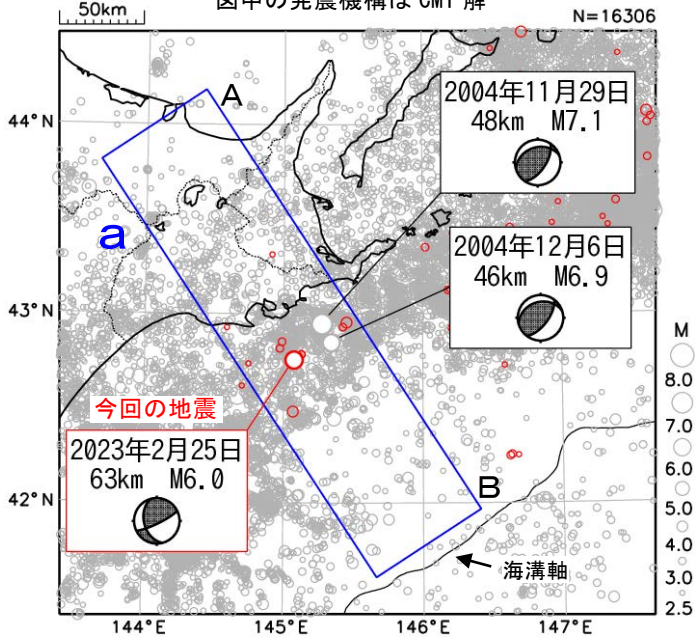
領域c内のM-T図



2月25日 釧路沖の地震

震央分布図

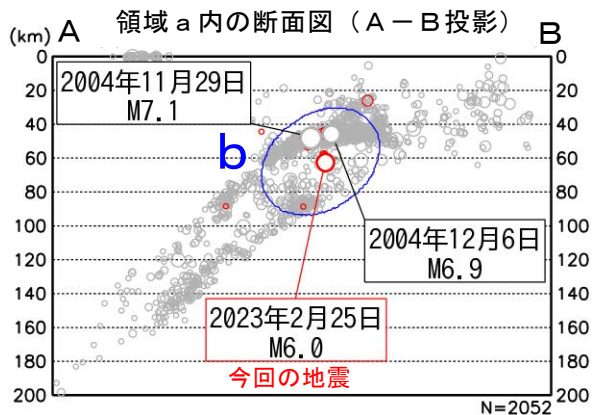
(2001年10月1日～2023年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 2.5$)
2023年2月の地震を赤で表示
図中の発震機構はCMT解



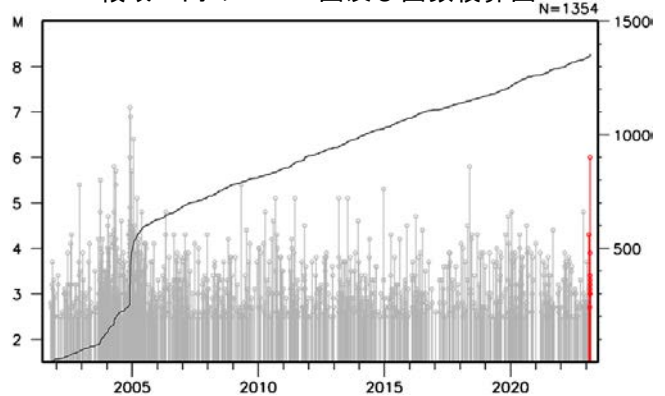
2023年2月25日22時27分に釧路沖の深さ63kmでM6.0の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5以上の地震が時々発生しており、2004年11月29日のM7.1の地震（最大震度5強）では、負傷者52人、住家全壊1棟、一部破損4棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）で、負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じた。また、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。

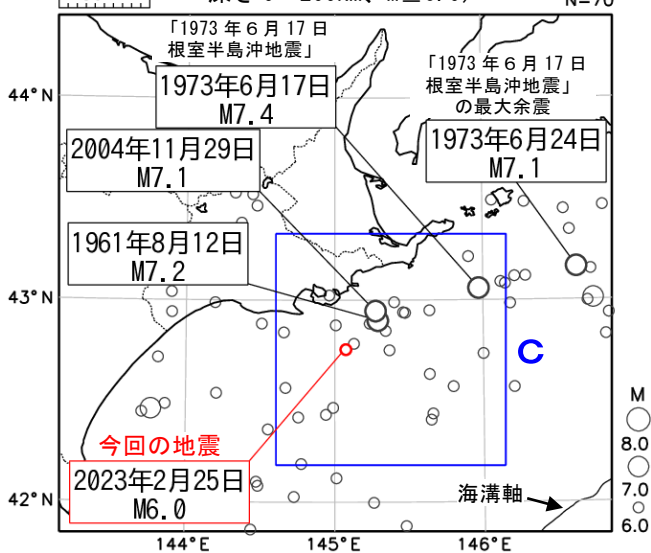


領域b内のM-T図及び回数積算図

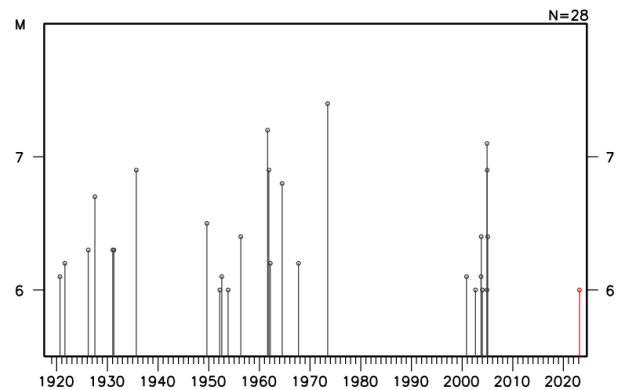


震央分布図

(1919年1月1日～2023年2月28日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

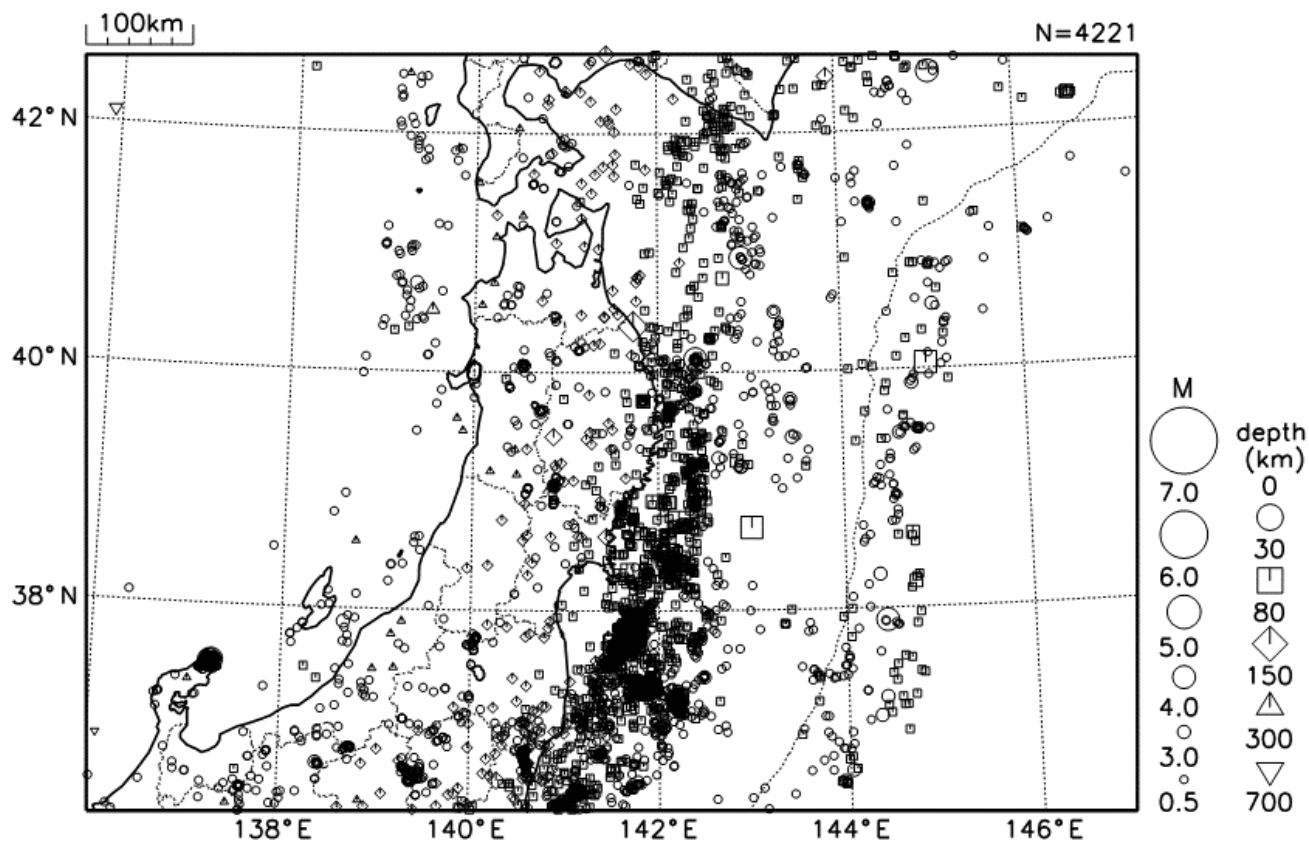


図6 東北地方の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

[概況]

2月に東北地方で震度1以上を観測した地震は27回（1月は32回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

○関東・中部地方の地震活動

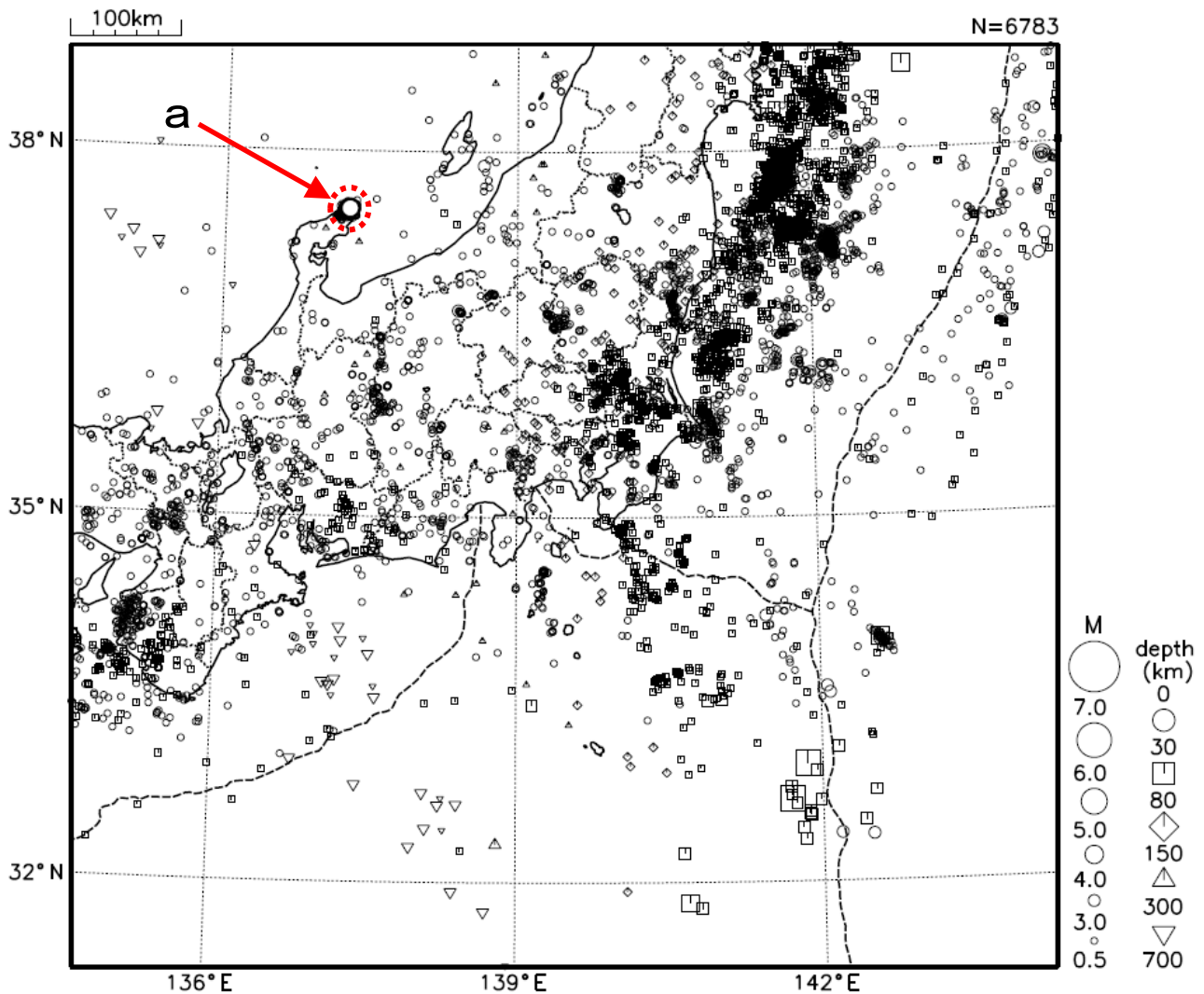


図7 関東・中部地方の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は36回（1月は54回）であった。2月中の主な活動は次のとおりである。

石川県能登地方では、2月中に震度1以上を観測した地震が9回（震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回、能登半島沖で発生した地震を1回含む）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は、21日22時53分に深さ12kmで発生したM4.1の地震で、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、石川県で震度2～1を観測した。（p.10参照）。

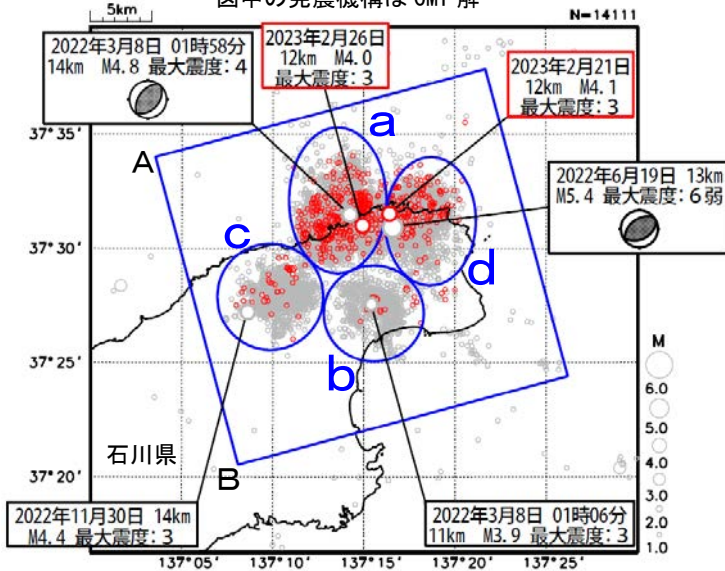
石川県能登地方の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2023年2月28日、
深さ0～25km、M \geq 1.0)

2023年2月の地震を赤色で表示

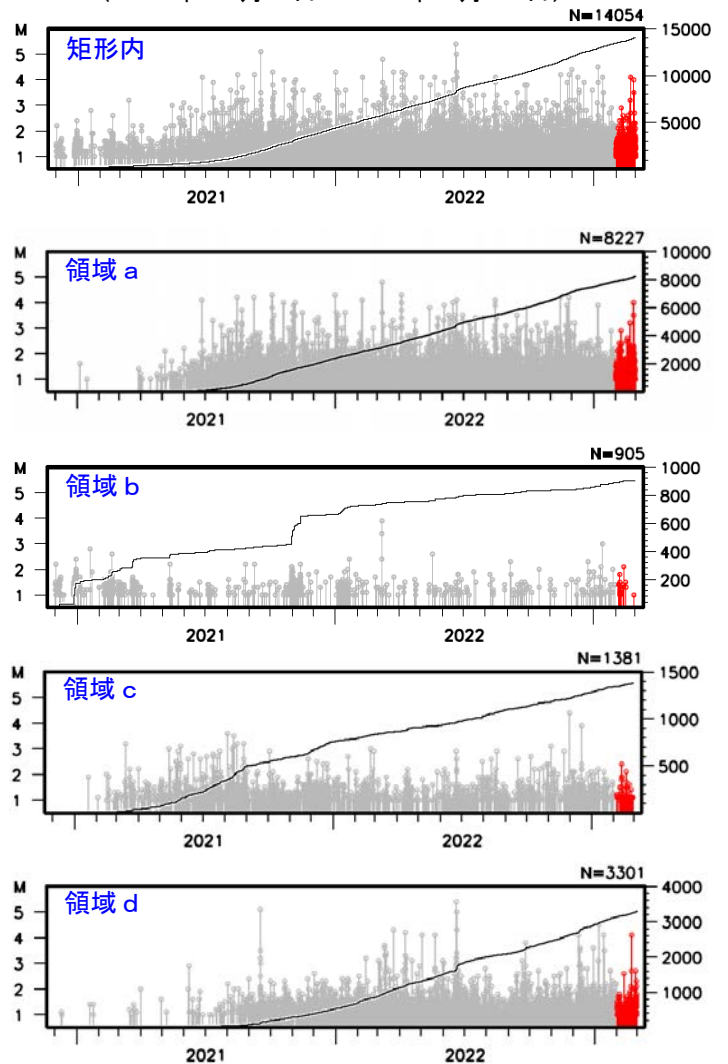
- ・ 黒色の吹き出し：領域a～dの各領域内で最大規模の地震
 - ・ 赤色の吹き出し：矩形内で2023年2月中の最大規模の地震及び2023年2月に震度3以上を観測した地震
- 図中の発震機構はCMT解



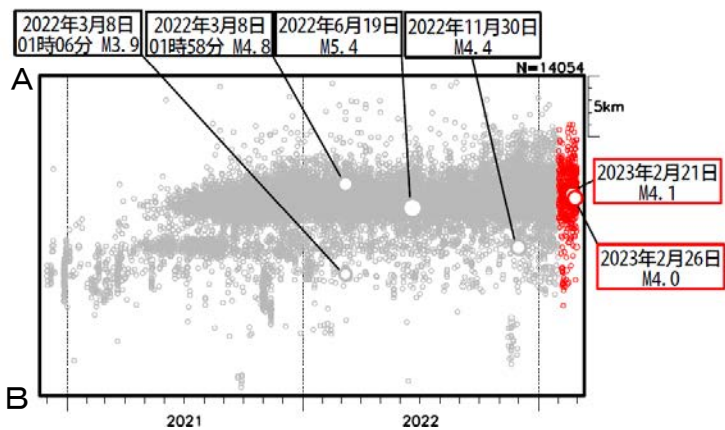
石川県能登地方 (矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になり、2021年7月頃からさらに活発になっている。2023年2月中も活発な状態が継続している。2023年2月中の最大規模の地震は、21日に発生したM4.1の地震 (最大震度3) である。なお、活動の全期間を通じて最大規模の地震は、2022年6月19日に発生したM5.4の地震 (最大震度6弱) である。

矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は、期間別・震度別地震発生回数のグラフ及び表のとおり。

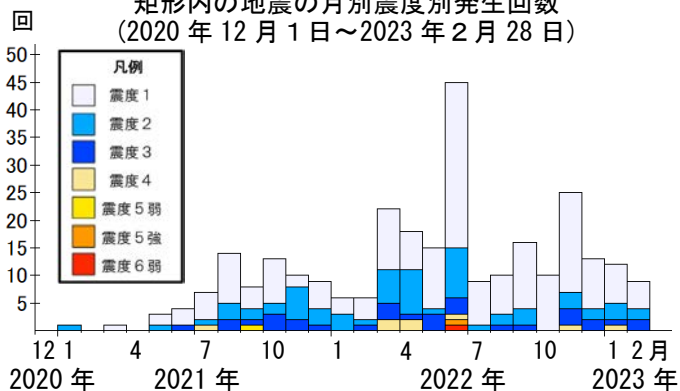
左図矩形内及び領域a～d内の
M-T図及び回数積算図
(2020年12月1日～2023年2月28日)



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



矩形内の地震の月別震度別発生回数
(2020年12月1日～2023年2月28日)



期間別・震度別の地震発生回数表

期間	最大震度別回数							計
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	
2020年12月1日 ～2023年1月1日	176	61	29	8	1	1	1	277
2023年2月1日～28日	5	2	2	0	0	0	0	9
計	181	63	31	8	1	1	1	286

○近畿・中国・四国地方の地震活動

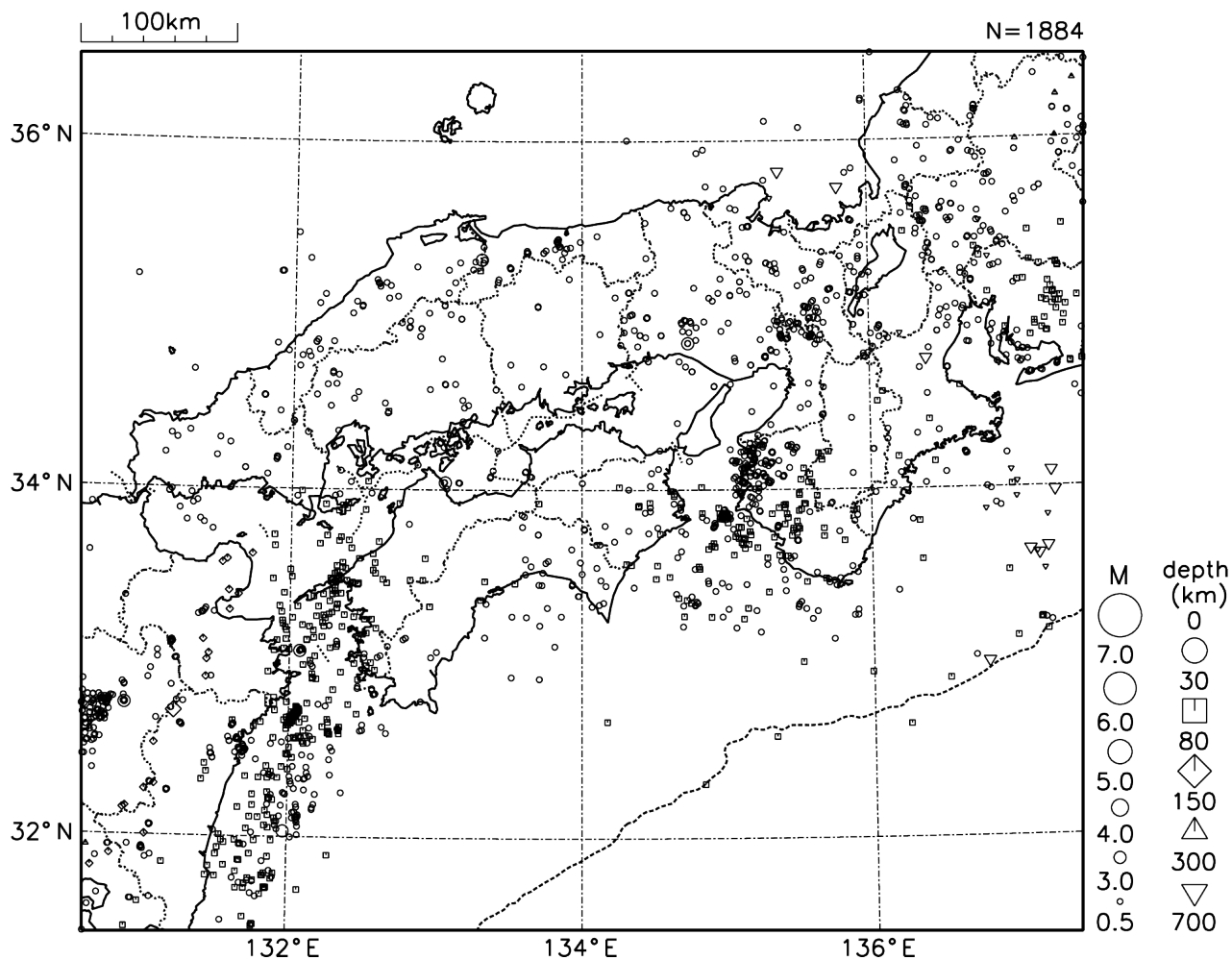


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は11回（1月は9回）であった。2月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

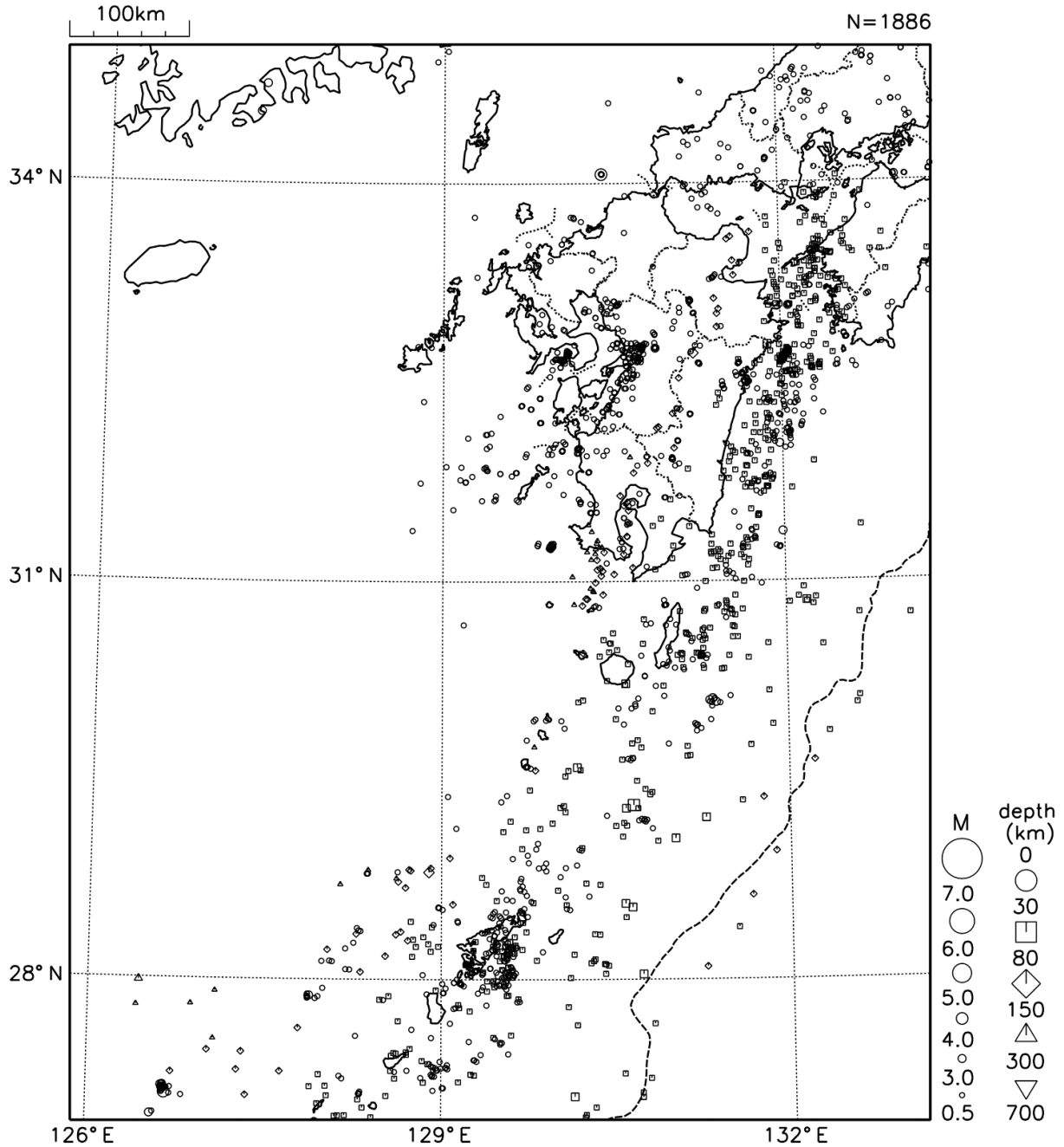


図9 九州地方の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、M \geq 0.5）

[概況]

2月に九州地方で震度1以上を観測した地震は15回（1月は24回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

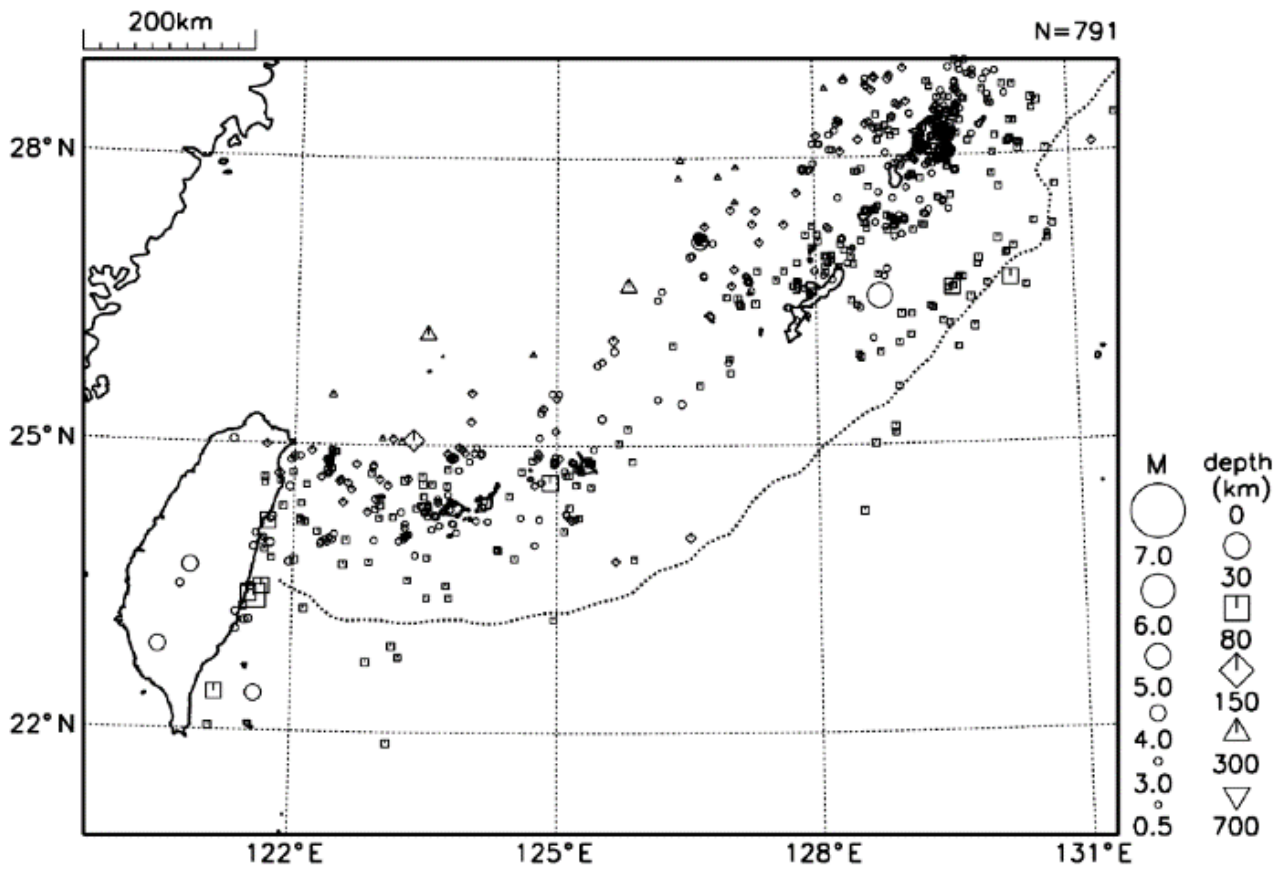


図10 沖縄地方の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

2月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は6回（1月は7回）であった。
2月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

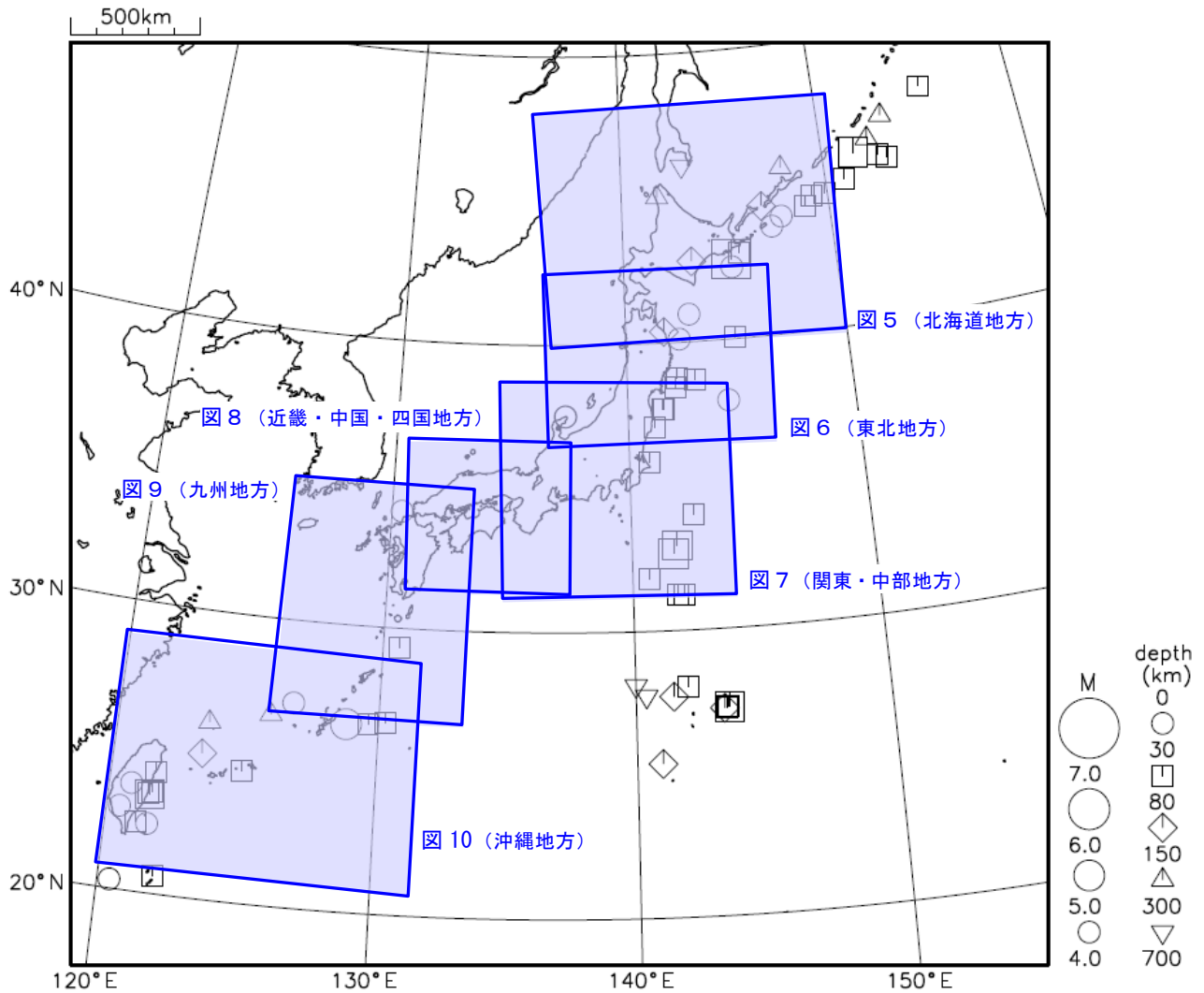


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2023年2月1日～2月28日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

2月に日本周辺で発生したM6.0以上の地震は1回であった（1月はなし）。

2月中に図5～10の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第65回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第443回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和5年3月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.17に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（1）四国西部：2月14日から19日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNS観測によると、2019年春頃から四国中部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動は、四国中部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ：cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

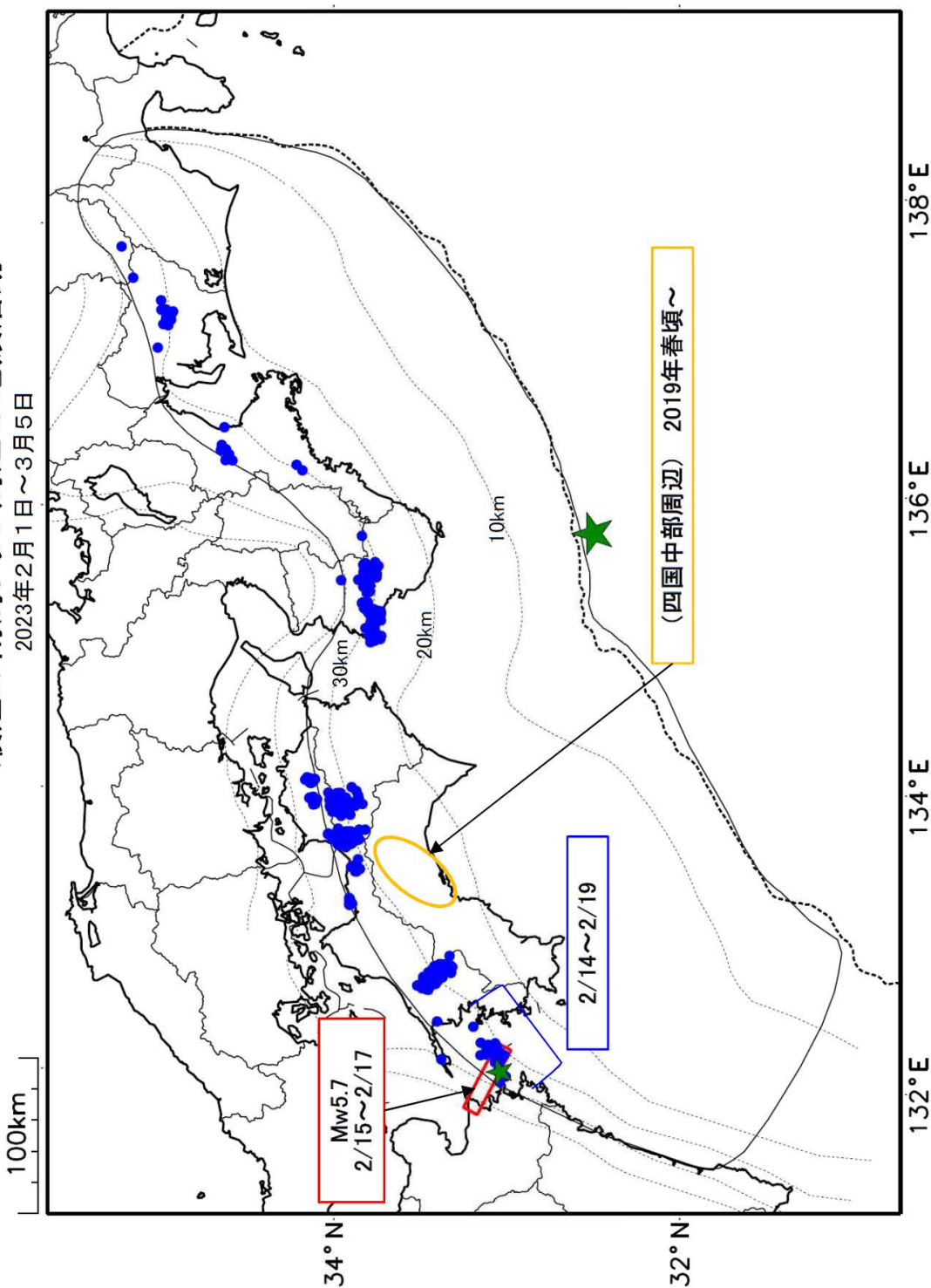
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2023年2月1日～3月5日



- 緑(★)
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)
- 青(●)
深部低波周波地震(微動)
- 赤(□)
短期的ゆっくりすべり
- 黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低波周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【四国中部周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和5年2月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和5年3月8日14時現在）。

諏訪之瀬島では、3月5日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

表1 令和5年3月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、薩摩硫黄島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ペヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、霧島山（新燃岳）、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

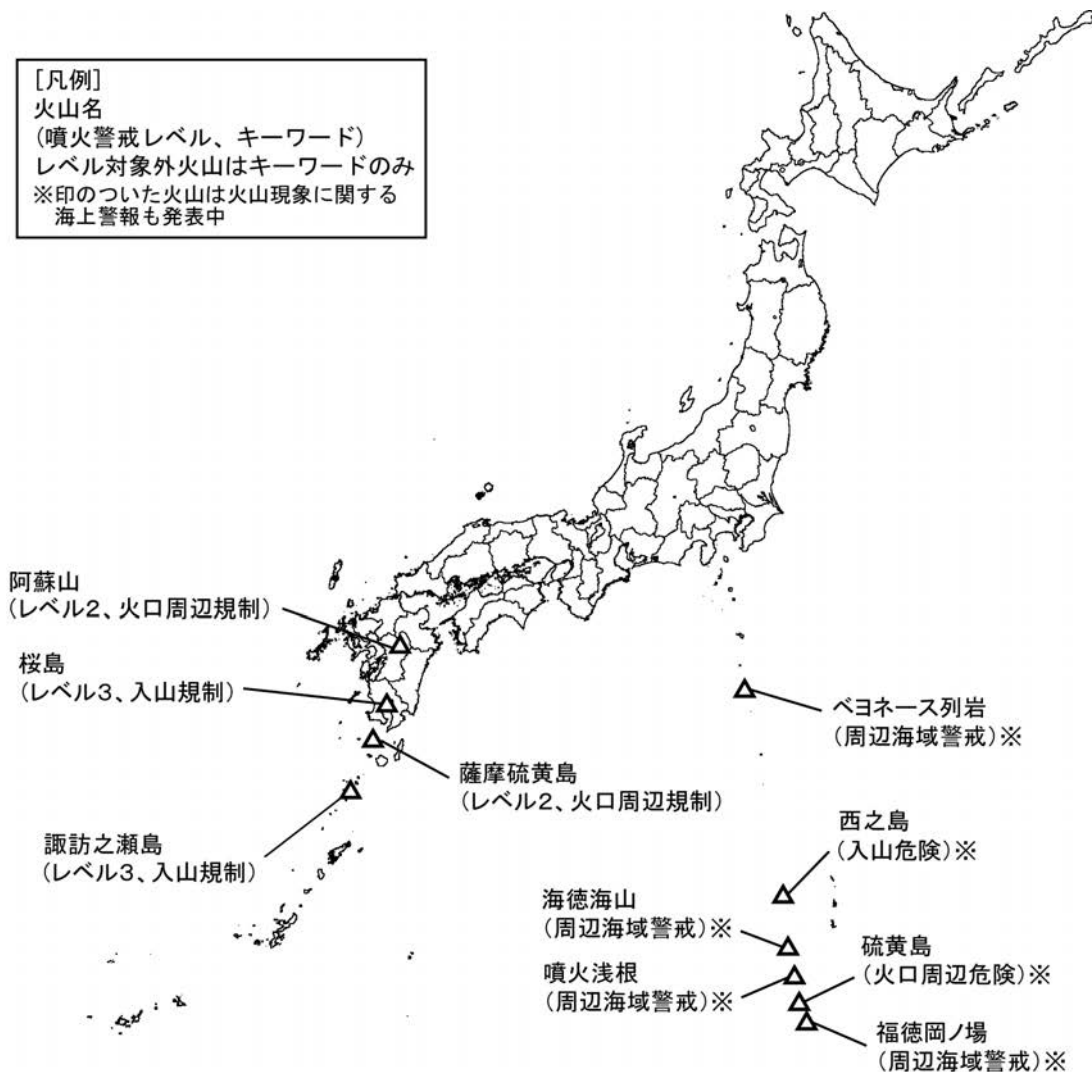


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（2月1日～28日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

ペヨネース列岩【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められないものの、引き続き明神礁付近で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

ペヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は観測されませんでした。火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福德岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性がります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

阿蘇山では、火山活動に高まりがみられます。火山性微動の振幅は、1月30日頃（期間外）から大きな状態で推移している中、8日06時30分頃からの増大と、同日13時頃の急激な減少が観測されました。その後は振幅に大きな変動はみられず、概ねやや大きな状態で経過しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は少ない状態で経過しており、GNSS連続観測には特段の変化は認められません。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、活発な噴火活動が続いています。南岳山頂火口では噴火¹⁾が26回発生し、このうち11回が爆発でした。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で6合目まで達し、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上2,400mまで上がりました。

昭和火口では8日から噴火活動が時々みられており、噴火が4回発生しました。昭和火口において噴火が発生したのは2018年4月2日以来です。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス放出量は概ね多い状態であり、山体膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されていることから、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】←3月5日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。

御岳（おたけ）火口では、活発な噴火活動が継続しています。15日及び21日に一時的な爆発の増加がみられ、15日には火口中心から1km付近まで飛散する大きな噴石を観測しました。3月2日（期間外）からは再び爆発が増加しています。

諏訪之瀬島では、御岳火口中心から1kmを超え概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある判断し、3月5日06時40分（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

GNSS連続観測では火山活動と考えられる特段の変化は認められませんが、傾斜計では1月下旬から諏訪之瀬島西側のやや深部へのマグマの蓄積と考えられる西上がりの変動が断続的にみられており、爆発は増減を繰り返しています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は21日に一時的に増加しましたが少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、ア CANDANA 山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

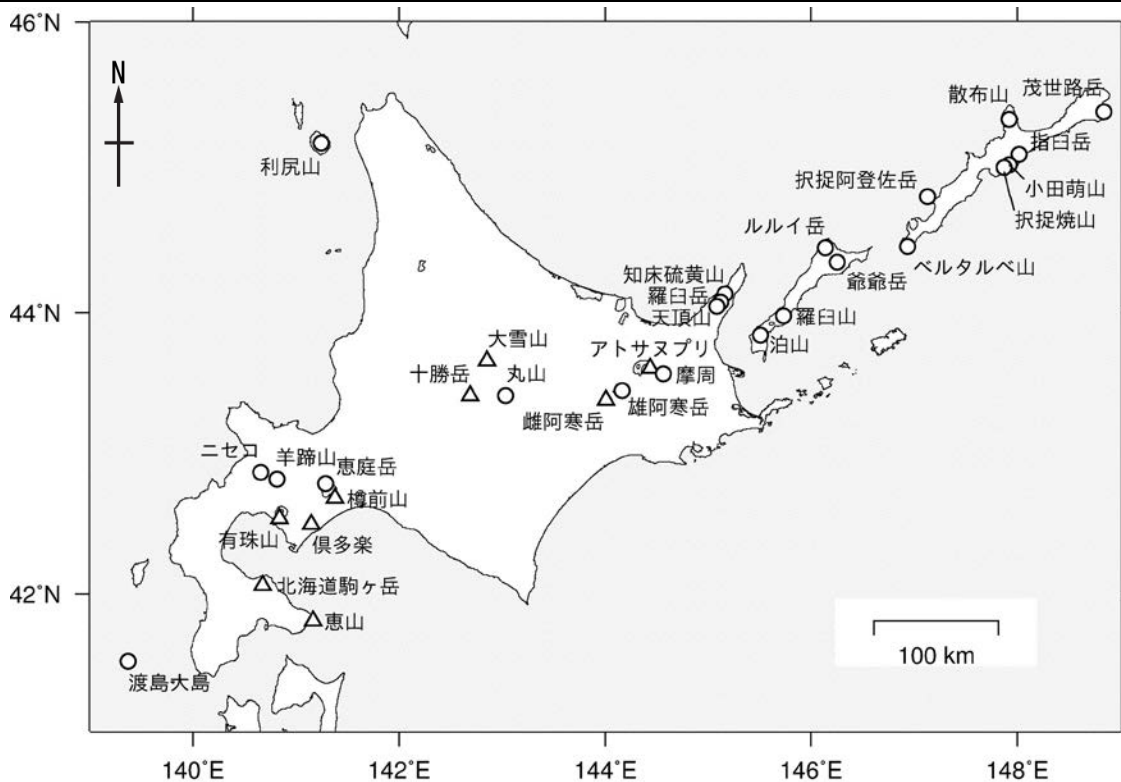
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年2月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では熱活動の活発な状態が続いており、今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年2月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、中湖付近の深さ5km前後の領域で地震回数が一時的に増加しましたが、その他の火山活動に特段の変化は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS連続観測では、2020年中頃から秋田焼山を挟む基線で伸びの変化が認められ、今期間もその変化は継続しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられませんが、地殻変動等の今後の火山活動の推移に留意してください。

八幡平〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

上空からの観測では、噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年9月以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち女岳^{めだけ}付近では地熱活動も継続的に認められますので、中長期的な火山活動の活発化に留意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

大穴火口付近では、今期間火山性地震が多い状態で経過しています。浄土平傾斜計ではわずかな西（大穴火口方向）上がりの変化が継続している中、地震の発生に伴って短期的な傾斜変動もみられます。大穴火口周辺地下の温度上昇を示唆する変化等も引き続きみられるなど、浅部の熱水活動は不安定な状況が続いていますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS連続観測では、2022年後半から火山活動の可能性のある変化が認められており、今期間は地震回数がやや多い状態で経過しています。今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

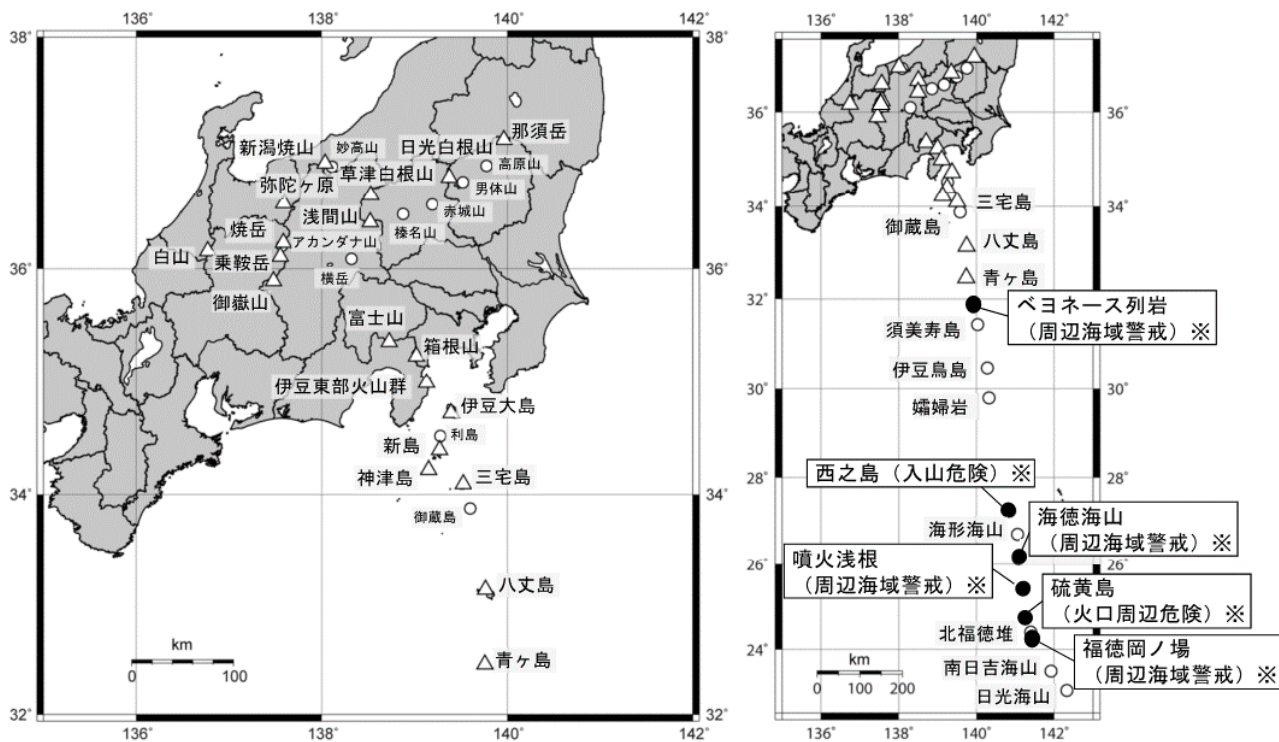
管内月間火山概況（令和5年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（2月28日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、海德海山※、噴火浅根※、福岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡例
 噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
 本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

湯釜周辺の地震活動は低調で浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。しかし、湯釜付近の浅部の熱水活動は継続しており、中長期的には再活発化も考えられるため、今後も火山活動の推移に十分注意が必要です。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震、噴煙量及び火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね少ない状態で経過しています。深部からのマグマ上昇と考えられる浅間山の西側での膨張を示す地殻変動は認められません。

浅間山の火山活動は低下した状態ですが、今後も火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

焼岳では、山頂付近の微小な地震は、概ね少ない状態で推移しています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、地震活動は低調に経過しました。地殻変動も停滞しており、火山活動は静穏な状態に戻る傾向が続いています。

ただし、地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。
地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

ただし、大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

三宅島では、GNSS連続観測で山体深部の膨張を示す伸びが続いています。2019年4月頃からみられる、山体浅部の膨張を示すと考えられる伸びの傾向は2022年から鈍化していますが、火山活動は依然として徐々に高まりつつあると考えられます。

現在も、主火孔の噴煙活動は弱いながらも続いており、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、引き続き明神礁付近で変色水が認められており、海底噴火が発生する可能性があります。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は観測されませんでした。火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

噴火浅根〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、気象衛星ひまわりでは噴火は認められていません。

引き続き、噴火浅根の周辺海域では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生しています。

今期間、噴火は観測されていませんが、火山活動はやや活発な状態で推移していますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、変色水域が確認されています。

福徳岡ノ場の過去の活動履歴を考慮すると、2021年8月に発生した陸地を形成するような規模の噴火が、再びすぐに発生する可能性は低いと考えられます。しかし、最近でも変色水域が確認されるなど、活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性がります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

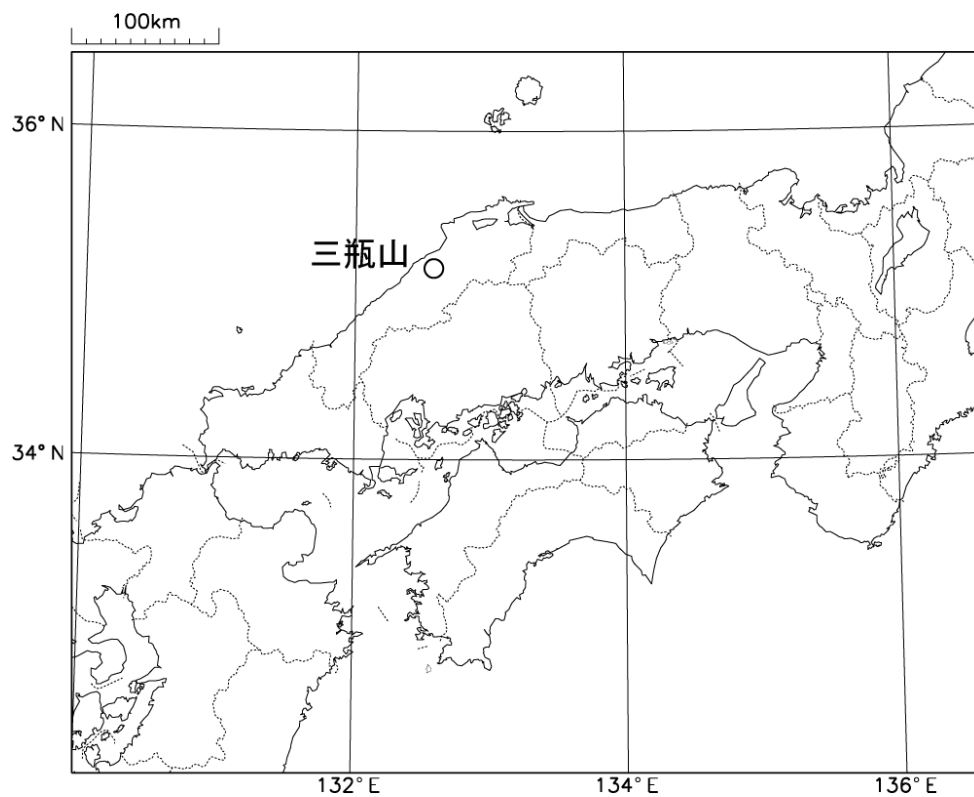
管内月間火山概況（令和5年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

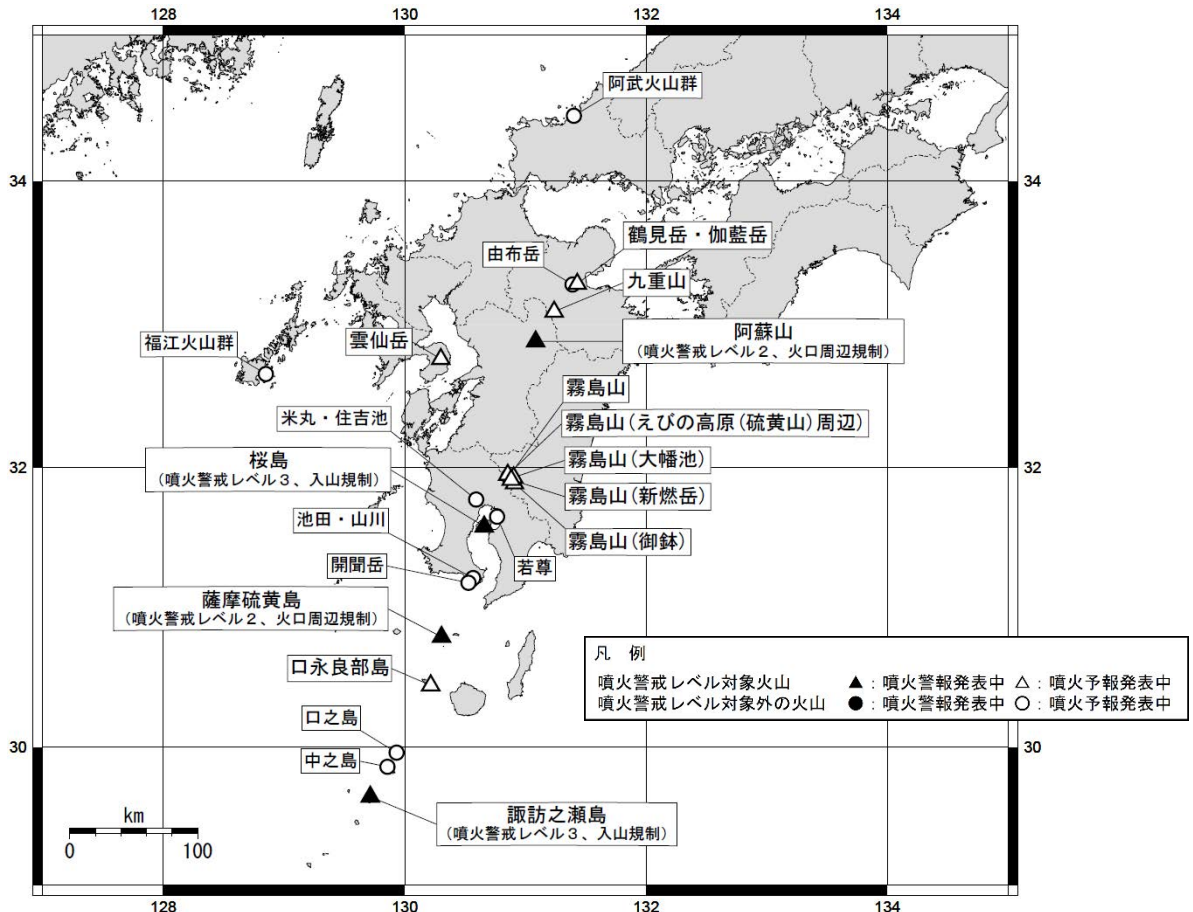
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年2月）

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和5年3月5日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、諏訪之瀬島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、薩摩硫黄島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_vact_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（2月1日～28日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

諏訪之瀬島では、3月5日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、B型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化がみられています。今後の火山活動に留意してください。

阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、火山活動に高まりがみられます。火山性微動の振幅は、1月30日頃（期間外）から大きな状態で推移している中、8日06時30分頃からの増大と、同日13時頃の急激な減少が観測されました。その後は振幅に大きな変動はみられず、概ねやや大きな状態で経過しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は少ない状態で経過しており、GNSS連続観測には特段の変化は認められません。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2km付近を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線において、2022年11月頃から硫黄山の山体浅部における膨張を示すと考えられるわずかな伸びがみられていましたが、2023年1月頃から停滞しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）きりしまやま しんもえだけ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過していますが、一時的な増加が時々みられています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びが認められています。

新燃岳では、今後火山活動が活発化する可能性があります。活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）きりしまやま おはち [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島さくらじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、活発な噴火活動が続いています。南岳山頂火口では噴火²⁾が26回発生し、このうち11回が爆発³⁾でした。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で6合目まで達し、噴火に伴う噴煙は最高で火口縁上2,400mまで上がりました。

昭和火口では8日から噴火活動が時々みられており、噴火が4回発生しました。昭和火口において噴火が発生したのは2018年4月2日以来です。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス放出量は概ね多い状態であり、山体膨張を示す緩やかな地殻変動が観測されていることから、今後も活発な噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩 硫黄島さつまいおうじま [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的には継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島くちのえらぶじま [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は1日数回程度と概ね少ない状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少ない状態が続いています。また、GNSS連続観測では、2021年5月以降、特段の変化は認められません。

口永良部島では、火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低いと考えられます。

活火山であることから、新岳火口内、西側割れ目付近では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←3月5日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げ。

御岳（おたけ）火口では、活発な噴火活動が継続しています。15日及び21日に一時的な爆発の増加がみられ、15日には火口中心から1km付近まで飛散する大きな噴石を観測しました。3月2日（期間外）からは再び爆発が増加しています。

諏訪之瀬島では、御岳火口中心から1kmを超え概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるとして判断し、3月5日06時40分（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

GNSS連続観測では火山活動と考えられる特段の変化は認められませんが、傾斜計では1月下旬から諏訪之瀬島西側のやや深部へのマグマの蓄積と考えられる西上がりの変動が断続的にみられており、爆発は増減を繰り返しています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は21日に一時的に増加しましたが少ない状態で経過しています。

御岳火口中心から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和5年2月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

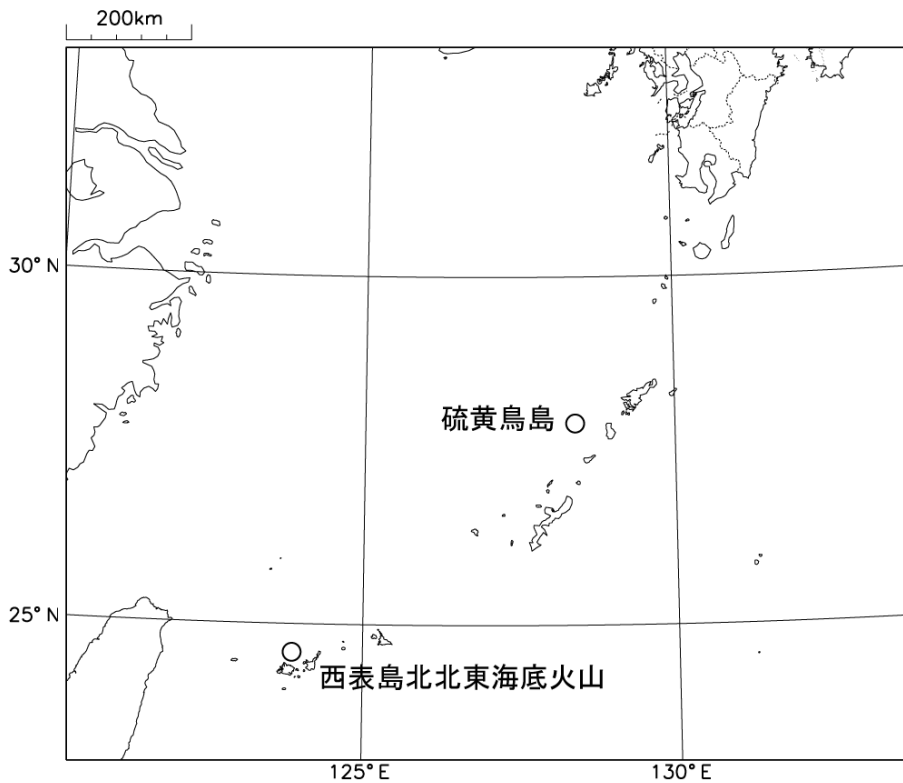
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaietsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和5年2月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第16～25号	3日、6日 16時00分 8日 11時40分 16時00分 10日、13日、17日、20日、24日、27日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の噴火、爆発の発生、噴煙、火映、大きな噴石飛散の状況。8日に昭和火口でごく小規模な噴火が発生（2018/4/3以来）。以降、昭和火口と南岳山頂火口で噴火が発生。現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量。上空からの観測の状況。火山性地震、微動の発生状況。傾斜計及び伸縮計では、1月14日頃から山体膨張を示す緩やかな地殻変動を、引き続き観測。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	14日 15時02分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	14日 15時13分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第10、11号	6日、13日 16時00分	噴火活動は継続。爆発の発生状況、大きな噴石飛散。集落での鳴動と降灰の状況。地殻変動で島西側深部のマグマ蓄積量の増加は認められない。火山性地震も減少し少ない状態。
		解説情報(臨時) 第12～16号	15日 22時10分 16日 10時00分 16時00分 17日、18日 16時00分	13日頃から爆発が増加し、噴火活動が活発化。15日21時30分の爆発で大きな噴石が火口から900mに達した。その後は1km付近に達する噴石の観測はなく、爆発は16日以降は次第に減少。
		解説情報 第17、18号	20日、27日 16時00分	噴火活動は継続。爆発の発生状況、大きな噴石飛散。集落での鳴動と降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。島西側のやや深部へのマグマの蓄積を示唆する傾斜変動。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6～9号	6日、13日、20日、27日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～16号	3日、6日 16時00分 8日 09時00分	火山性微動の振幅がやや大きい状態で推移していたところ、8日06時30分頃から次第に増大。
		解説情報(臨時) 第17～20号	8日 13時20分 16時00分 9日、10日 16時00分	火山性微動の振幅が次第に増大していたところ、8日13時頃に急激に減少し、振幅が変動。その後は緩やかに増大し大きな状態で推移。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態。
		解説情報 第21～23号	13日、20日、27日 16時00分	火山性微動の振幅は、次第に増大と減少を経て、20日から次第に増大して23日以降やや大きい状態で推移。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は少ない。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。

● 世界の主な地震

令和5年（2023年）2月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

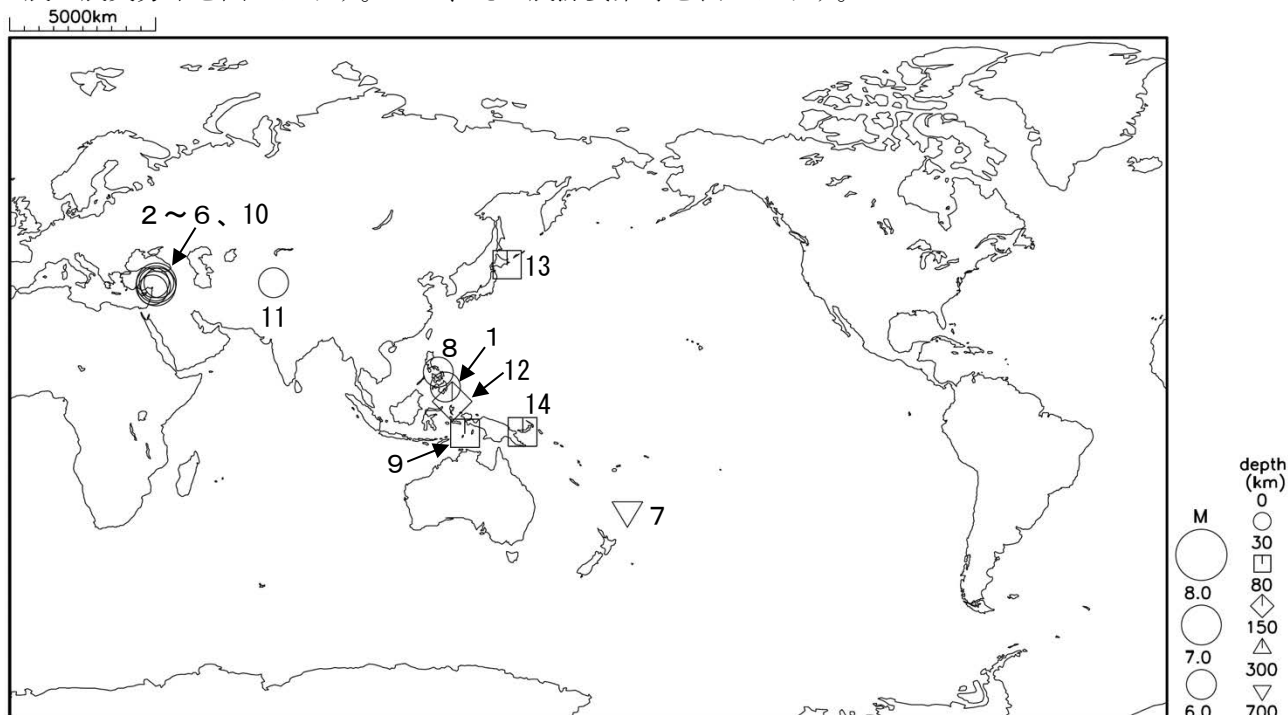


図1 令和5年（2023年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和5年（2023年）2月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02月01日19時44分	N 7° 44.4'	E126° 03.3'	19			6.0	フィリピン諸島、ミンダナオ			
2	02月06日10時17分	N37° 13.5'	E 37° 01.2'	10			(7.8)	トルコ	死者51,089人など 津波観測0.25m (バハリムニ)		○
3	02月06日10時28分	N37° 10.7'	E 36° 56.8'	11			6.7	トルコ			
4	02月06日19時24分	N38° 01.4'	E 37° 12.1'	10			(7.6)	トルコ			○
5	02月06日19時26分	N38° 01.8'	E 37° 57.8'	20	6.0			トルコ			
6	02月06日21時02分	N38° 03.2'	E 36° 30.5'	8	6.0			トルコ			
7	02月13日18時18分	S29° 31.3'	W177° 58.3'	374			6.1	ケルマデック諸島			
8	02月16日03時10分	N12° 19.5'	E123° 52.0'	8			6.1	フィリピン諸島、ルソン			
9	02月17日18時37分	S 6° 35.9'	E132° 04.5'	39			6.1	インドネシア、タニンバル諸島			
10	02月21日02時04分	N36° 09.5'	E 36° 01.4'	16			6.3	ヨルダン-シリア	死者6人など		
11	02月23日09時37分	N38° 04.3'	E 73° 12.4'	21			6.8	タジキスタン-シチアアンウイグル自治区 (中国) 境			
12	02月24日05時02分	N 3° 16.9'	E128° 08.1'	110			6.3	インドネシア、ハルマヘラ北方			
13	02月25日22時27分	N42° 45.3'	E145° 04.5'	63		6.0	(6.1)	釧路沖			
14	02月26日06時24分	S 6° 06.6'	E149° 47.5'	38			6.2	バブアニューギニア、ニューブリテン			○

- 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2023年3月6日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年3月6日現在)、国内は総務省消防庁による。ただし、トルコの地震活動 (番号2~6、10) による被害は、2月6日10時17分の地震 (番号2) の欄のみに記載した。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。
- 津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による (2023年3月6日現在)。

● 世界の主な火山活動

令和5年（2023年）2月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和5年（2023年）2月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●特集. 2023年2月6日 トルコの地震

（1）概要及び最近の地震活動 （注1）

2023年2月6日10時17分（日本時間、以下同じ）にトルコの深さ10kmでMw7.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、今回の地震①）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日10時47分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。この地震により、キプロスのパラリムニで0.25mなどの津波を観測した。

今回の地震①の震央付近（図1-3の領域b）では、この地震の発生後に地震活動が活発になり、今回の地震①の約9時間後の同日19時24分には、トルコの深さ10kmでMw7.6の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、今回の地震②）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁はこの地震に対して、同日19時52分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

今回の地震活動により、死者51,089人、負傷者118,700人などの被害が生じた（2023年3月2日時点）。

今回の地震活動域は、ユーラシアプレートとアラビアプレートの境界に位置する地域である。1970年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（図1-1の領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2020年1月25日にはMw6.8の地震が発生し、死者41人、負傷者約1,600人などの被害が生じた。

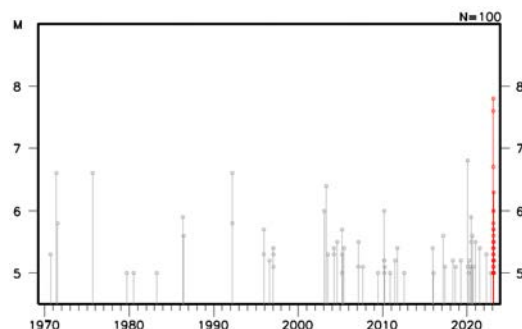
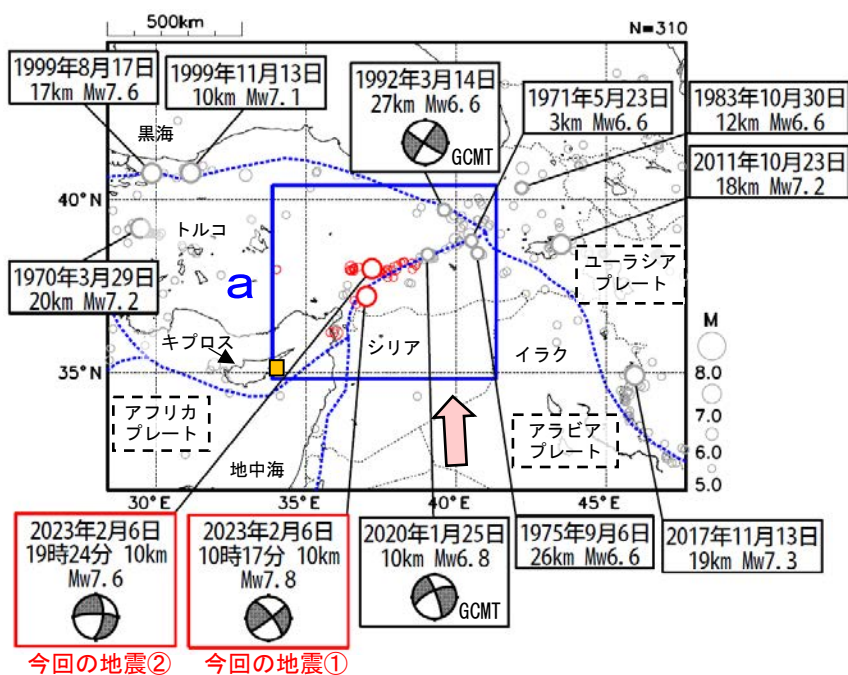


図1-2 図1-1の領域a内のM-T図

図1-1 震央分布図（1970年1月1日～2023年2月28日、深さ0～30km、M≥5.0）
2023年2月の地震を赤く表示。

（注1） 震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年3月6日現在）。ただし、吹き出しのある地震のうち、発震機構とMwは、今回の地震①及び②、2011年10月23日の地震及び2017年11月13日の地震は気象庁、1970年3月29日の地震、1971年5月23日の地震及び1975年9月6日の地震はISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 9.1（1904-2018）、その他の地震はGlobal CMTによる。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による。被害は、今回の地震及び2020年1月25日の地震はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2023年3月2日現在）、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird（2003）*1、活断層はStyron and Pagani（2020）*2より引用。

*1 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

*2 参考文献 Styron, R. and Pagani, M. (2020) The GEM Global Active Faults Database. *Earthquake Spectra*, 36(1), pp. 160-180, doi:10.1177/8755293020944182

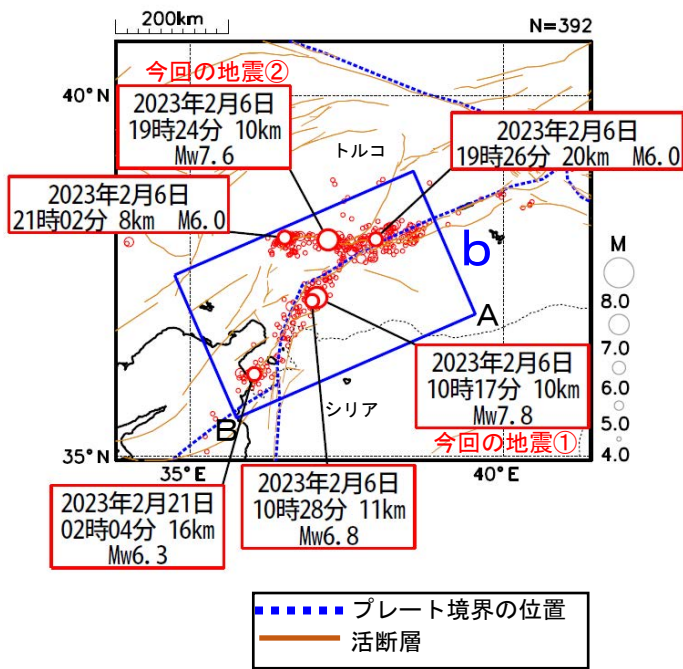


図1-3 図1-1の領域a内の震央分布図 (2023年2月1日~28日、M≥4.0)

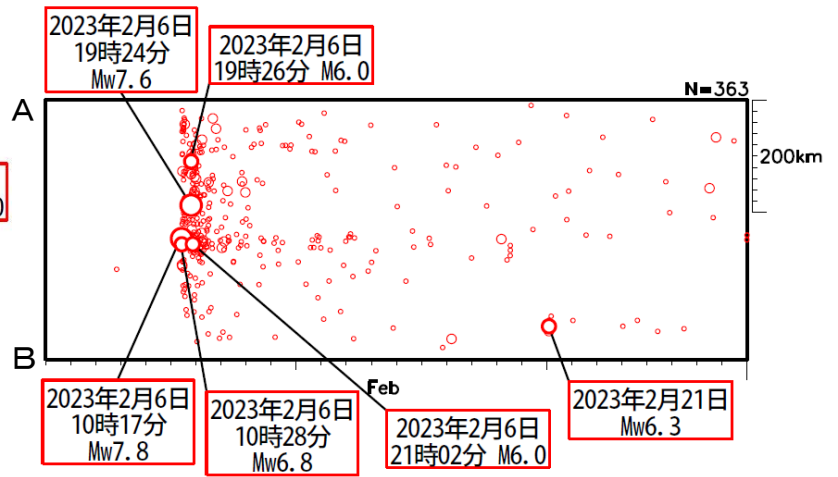


図1-4 図1-3の領域b内の時空間分布図 (A-B投影)

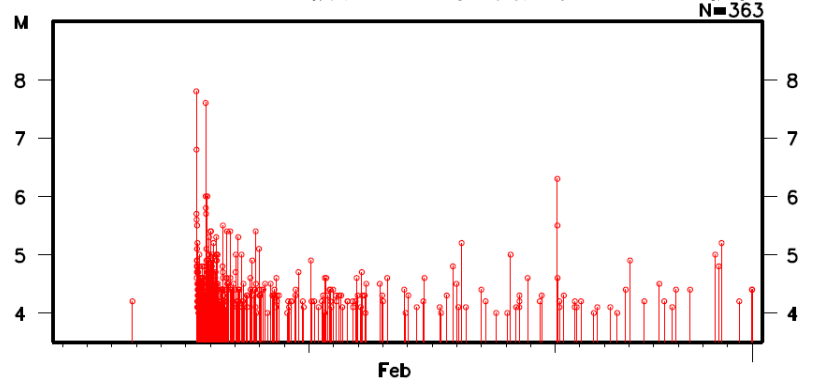


図1-5 図1-3の領域b内のM-T図

(2) 今回の地震の発震機構 (注2)

今回の地震の震央周辺の発震機構の分布をみると、概ね北北東-南南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型の地震が多く発生している (図2-1、図2-2、図2-3)。今回の地震①及び②の発震機構は、これまでの地震の傾向と調和的である。

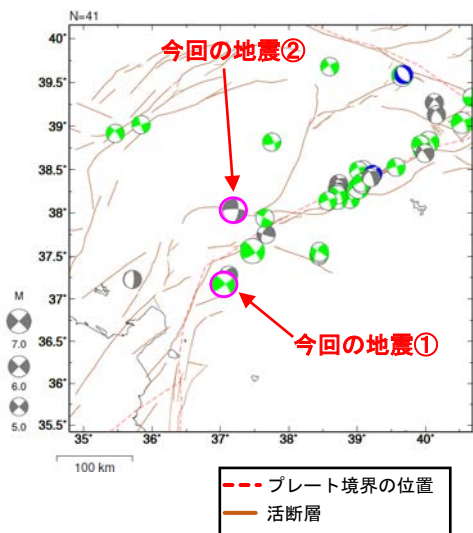


図2-1 図1-1の領域a内の発震機構分布図 (1976年1月1日~2023年2月28日、深さ0~30km、M≥5.0)

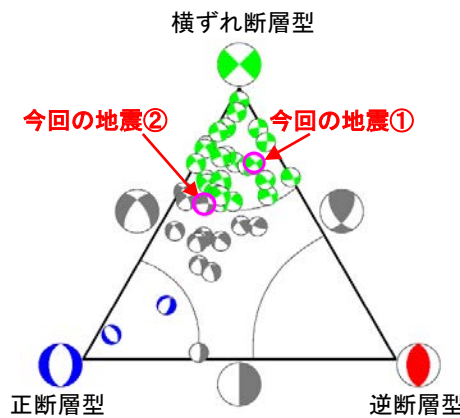


図2-2 図2-1の発震機構の型の分布

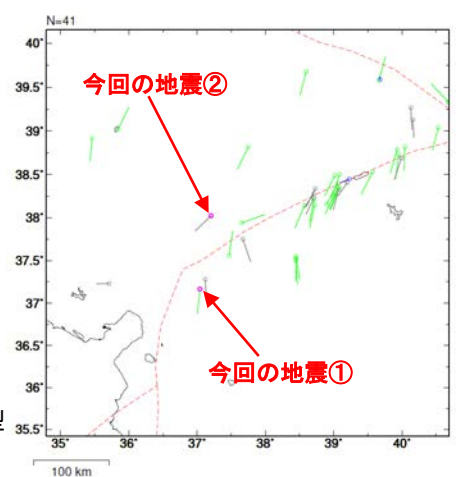


図2-3 図2-1の発震機構の圧力軸の向きの分布

(注2) 震源要素及び発震機構は、今回の地震①及び②は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird (2003) *1、活断層はStyron and Pagani (2020) *2より引用。

*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

*2参考文献 Styron, R. and Pagani, M. (2020) The GEM Global Active Faults Database. *Earthquake Spectra*, 36(1), pp. 160-180, doi:10.1177/8755293020944182.

（3）過去に発生した主な地震（注3）

1904年以降の活動をみると、トルコ国内では、M7.0以上の地震が時々発生しており、大きな被害を伴っている。1939年12月27日にはM7.8の地震により、死者32,968人などの被害が生じた。また近年では、1999年8月17日のMw7.6の地震により、死者17,118人、負傷者約50,000人などの被害が生じた。

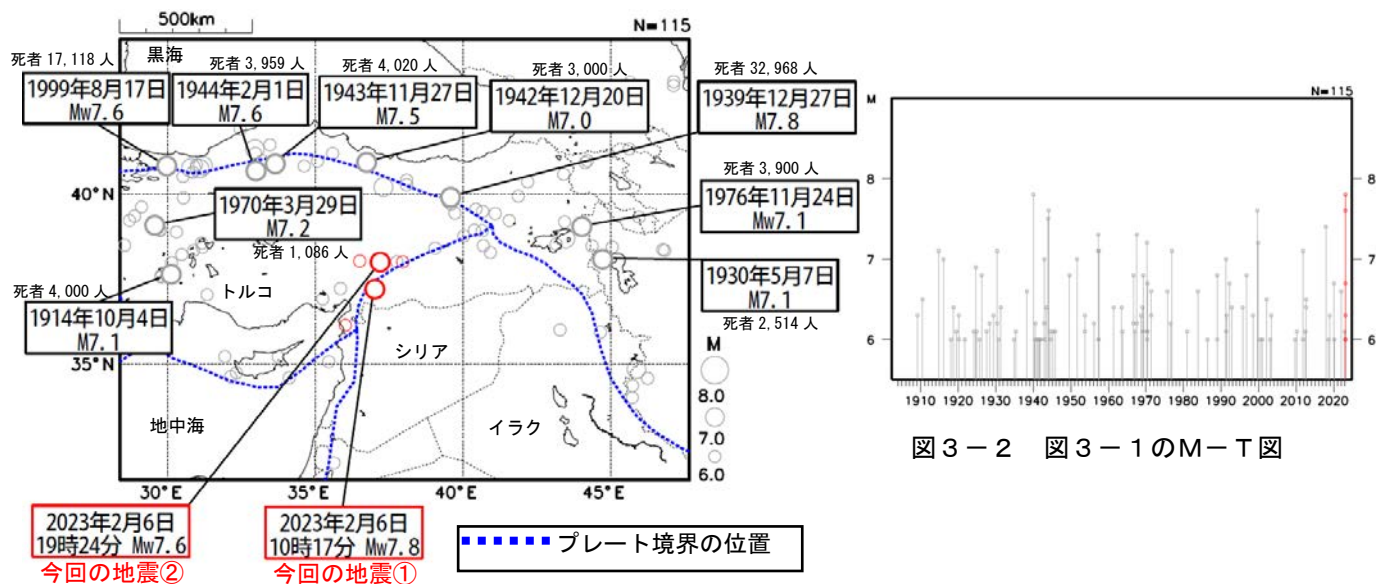


図3-1 震央分布図

（1904年1月1日～2023年2月28日、
深さ0～50km、M≥6.0）
2023年2月の地震を赤く表示
吹き出しはM7.0以上かつ死者1,000人以上の
被害を伴った地震

（注3）震源要素は、2018年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 9.1（1904-2018）、2019年以降は米国地質調査所（USGS）による（2023年3月6日現在）。ただしMwは、1976年11月24日及び1999年8月17日の地震はGlobal CMT、今回の地震①及び②は気象庁によるモーメントマグニチュード。地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和5年2月中に震度1以上を観測した地震は99回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 08 58	沖縄本島近海 沖縄県 1 渡名喜村渡名喜*=0.8	26° 31.7' N	127° 05.5' E	75km	M: 3.1
2	2 11 57	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東*=1.3 根室市牧の内*=1.0 根室市瑠瑠*=1.0 根室市厚床*=0.9 別海町常盤=0.6	43° 21.1' N	146° 01.2' E	93km	M: 3.9
3	2 18 18	宮城県沖 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5	38° 54.6' N	142° 06.8' E	44km	M: 3.4
4	3 01 33	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.9 小笠原村父島三日月山=0.5	27° 00.5' N	142° 21.2' E	77km	M: 3.8
5	3 02 58	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*=1.8 一関市千厩町*=1.7 住田町世田米*=1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 一関市大東町=1.3 奥州市衣川*=1.2 一関市藤沢町*=1.2 陸前高田市高田町*=1.0 宮古市区界*=0.9 一関市東山町*=0.9 釜石市中妻町*=0.8 北上市相去町*=0.8 大船渡市猪川町=0.8 平泉町平泉*=0.7 釜石市只越町=0.6 盛岡市藪川*=0.6 一関市花泉町*=0.6 遠野市青笹町*=0.5 宮城県 2 石巻市北上町*=1.8 石巻市桃生町*=1.6 1 涌谷町新町裏=1.4 登米市東和町*=1.4 石巻市雄勝町*=1.3 登米市中田町=1.2 登米市豊里町*=1.2 登米市石越町*=1.2 栗原市栗駒=1.0 宮城美里町北浦*=1.0 大崎市古川旭*=1.0 石巻市大瓜=1.0 石巻市鮎川浜*=1.0 栗原市若柳*=0.9 大崎市松山*=0.9 大崎市古川三日月町=0.9 松島町高城=0.9 気仙沼市唐桑町*=0.8 大崎市鹿島台*=0.8 大崎市田尻*=0.8 栗原市瀬峰*=0.8 栗原市一迫*=0.8 栗原市高清水*=0.7 岩沼市桜*=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 仙台宮城野区苦竹*=0.7 石巻市泉町=0.7 大崎市鳴子*=0.7 宮城加美町中新田*=0.7 東松島市小野*=0.7 栗原市志波姫*=0.7 大衡村大衡*=0.7 色麻町四籠*=0.6 栗原市金成*=0.6 気仙沼市笹が陣*=0.6 栗原市築館*=0.6 石巻市大街道南*=0.6 石巻市前谷地*=0.6 栗原市鶯沢*=0.6 名取市増田*=0.6 登米市津山町*=0.5	38° 39.0' N	141° 48.4' E	48km	M: 3.8
6	5 16 13	埼玉県南部 茨城県 栃木県 東京都 1 笠間市石井*=0.5 1 宇都宮市明保野町=0.5 1 東京千代田区大手町=1.0	35° 55.8' N	139° 48.1' E	82km	M: 3.3
7	6 03 53	福島県沖 宮城県 福島県 1 角田市角田*=0.8 亙理町悠里*=0.8 岩沼市桜*=0.7 1 相馬市中村*=1.3 新地町谷地小屋*=1.0 浪江町幾世橋=0.7 大熊町大川原*=0.5	37° 32.1' N	141° 26.1' E	53km	M: 3.8
8	6 05 52	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本西区春日=1.7 1 宇城市豊野町*=1.3 宇城市不知火町*=1.1 甲佐町豊内*=1.0 嘉島町上島*=0.9 熊本南区城南町*=0.9 熊本南区富合町*=0.7 熊本美里町馬場*=0.7 熊本東区佐土原*=0.6	32° 42.1' N	130° 42.0' E	13km	M: 2.9
9	6 14 21	静岡県伊豆地方 静岡県 1 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6	34° 58.8' N	139° 01.8' E	3km	M: 1.7
10	7 01 55	福島県沖 福島県 1 田村市船引町=0.6	37° 41.7' N	141° 31.3' E	54km	M: 3.7
11	7 07 50	日向灘 宮崎県 1 川南町川南*=0.5	32° 01.8' N	131° 58.4' E	24km	M: 3.4
12	7 09 58	和歌山県北部 和歌山県 1 紀美野町下佐々*=0.7	34° 05.5' N	135° 15.2' E	6km	M: 2.5
13	7 18 41	茨城県北部 茨城県 2 笠間市石井*=1.7 ひたちなか市東石川*=1.6 日立市助川小学校*=1.5 1 水戸市金町=1.4 ひたちなか市南神敷台*=1.4 常陸大宮市北町*=1.4 水戸市内原町*=1.3 城里町小勝*=1.3 常陸大宮市山方*=1.2 水戸市千波町*=1.1 城里町石塚*=1.1 笠間市中央*=1.1 東海村東海*=0.9 日立市役所*=0.8 常陸太田市町屋町=0.8 土浦市常名=0.7 大子町池田*=0.7 常陸太田市町田町*=0.7 高萩市安良川*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 北茨城市磯原町*=0.6	36° 34.4' N	140° 17.5' E	107km	M: 3.8

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		筑西市門井*0.6 笠間市下郷*0.6 水戸市栗崎町*0.6 日立市十王町友部*0.6 筑西市舟生=0.5 筑西市二木成*0.5				
		福島県 1 浅川町浅川*1.0 田村市都路町*0.9 白河市新白河*0.8 矢祭町東館*0.7 玉川村小高*0.7 矢祭町戸塚*0.7 鏡石町不時沼*0.6 いわき市三和町*0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 古殿町松川横川=0.6 田村市常葉町*0.6 浪江町幾世橋=0.5				
		栃木県 1 栃木那珂川町小川*1.1 宇都宮市明保野町=0.9 鹿沼市晃望台*0.9 宇都宮市中里町*0.8 壬生町壬生甲*0.8 栃木那珂川町馬頭*0.6				
14	7 20 42	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市新栄町*0.6 石垣市伊原間*0.6 竹富町大原=0.5	24° 21.4' N	124° 08.3' E	45km	M: 3.8
15	8 15 39	釧路沖 北海道 2 浜中町湯沸=2.4 根室市牧の内*2.4 根室市落石東*2.4 根室市厚床*2.3 浜中町茶内*2.2 根室市瑤瑤瑠*2.1 根室市弥栄=1.7 1 別海町本別海*1.4 別海町常盤=1.3 釧路市黒金町*1.3 根室市豊里=1.2 標津町北2条*1.1 標茶町塘路*0.9 釧路市幸町=0.8 中標津町養老牛=0.8 厚岸町尾幌=0.6 別海町西春別*0.6	42° 57.2' N	145° 27.1' E	46km	M: 4.3
16	8 15 47	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町中才*1.1	36° 39.1' N	139° 27.9' E	4km	M: 2.5
17	8 17 26	石川県能登地方 石川県 1 珠洲市正院町*1.1	37° 30.5' N	137° 12.4' E	12km	M: 2.9
18	8 18 02	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本南区城南町*1.1 熊本西区春日=0.9 熊本東区佐土原*0.6 熊本中央区大江*0.5	32° 44.9' N	130° 43.8' E	10km	M: 2.3
19	8 19 33	和歌山県北部 和歌山県 1 有田市初島町*0.8	34° 04.6' N	135° 09.8' E	9km	M: 2.2
20	8 21 30	留萌地方中北部 北海道 3 天塩町川口*3.1 2 幌延町宮園町*1.5 1 遠別町本町*1.2	44° 49.4' N	141° 50.2' E	24km	M: 3.4
21	9 00 33	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 揖斐川町東津波*1.3	35° 34.8' N	136° 25.0' E	9km	M: 2.5
22	9 03 16	浦河沖 北海道 1 浦河町潮見=1.3 浦河町築地*0.8 様似町栄町*0.8	42° 06.5' N	142° 46.8' E	43km	M: 3.6
23	9 14 59	和歌山県北部 和歌山県 2 湯浅町青木*1.5 1 有田川町中井原*0.6 有田川町清水*0.5 日高川町高津尾*0.5	34° 02.2' N	135° 17.9' E	9km	M: 2.9
24	9 16 19	熊本県熊本地方 熊本県 3 西原村小森*3.3 益城町惣領*3.0 熊本中央区大江*3.0 熊本東区佐土原*3.0 大津町大津*2.8 熊本西区春日=2.6 2 御船町御船*2.4 宇城市豊野町*2.4 和水町江田*2.3 熊本美里町馬場*2.2 大津町引水*2.2 嘉島町上島*2.2 甲佐町豊内*2.1 山都町浜町*2.1 菊池市旭志*2.1 熊本美里町永富*2.0 合志市竹迫*1.9 玉名市天水町*1.9 南阿蘇村河陽*1.8 菊陽町久保田*1.7 山都町今*1.7 玉東町木葉*1.6 宇城市小川町*1.6 宇土市浦田町*1.6 阿蘇市内牧*1.5 合志市御代志*1.5 南阿蘇村河陰*1.5 熊本南区富合町*1.5 1 熊本高森町高森*1.4 宇城市不知火町*1.4 上天草市松島町*1.4 山都町大平*1.3 南阿蘇村吉田*1.3 山鹿市鹿央町*1.2 玉名市中尾*1.2 氷川町島地*1.1 玉名市岱明町*1.1 菊池市隈府*1.1 菊池市泗水町*1.0 南阿蘇村中松=1.0 八代市鏡町*1.0 菊池市七城町*0.9 八代市東陽町*0.9 氷川町宮原*0.9 芦北町田浦町*0.8 上天草市大矢野町=0.8 山鹿市鹿本町*0.8 上天草市姫戸町*0.8 八代市新地町*0.8 山鹿市老人福祉センター*0.8 八代市泉支所*0.7 人吉市蟹作町*0.7 芦北町芦北=0.7 八代市平山新町=0.7 山鹿市鹿北町*0.6 球磨村渡*0.6 山鹿市菊鹿町*0.6 八代市坂本町*0.5	32° 45.4' N	130° 52.8' E	10km	M: 3.9
		福岡県 1 みやま市高田町*0.7 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙=0.7 雲仙市国見町=0.5 宮崎県 1 椎葉村下福良*1.2 高千穂町三田井=1.0 延岡市北川町川内名白石*0.8 椎葉村総合運動公園*0.8 宮崎美郷町田代*0.8 高千穂町寺迫*0.7 延岡市北方町卯*0.6				
		鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*0.6 伊佐市大口鳥巢*0.6				
25	9 18 01	宮城県北部 岩手県 1 一関市千厩町*0.7 一関市藤沢町*0.7	38° 37.2' N	141° 26.5' E	104km	M: 3.5
26	9 19 23	青森県東方沖 青森県 1 青森南部町平*0.5	40° 57.3' N	142° 55.3' E	25km	M: 4.1
27	9 22 16	長野県南部 長野県 2 木曾町新開*1.7	35° 53.1' N	137° 36.7' E	6km	M: 2.7

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 木曾町開田高原西野*=1.2 木曾町三岳*=1.0 木曾町福島*=0.5				
28	10 03 30	宗谷地方北部 青森県 岩手県	45° 03.3' N	141° 43.7' E	287km	M: 4.7
		1 階上町道仏*=1.1 八戸市湊町=0.8 八戸市南郷*=0.6 野辺地町野辺地*=0.6 1 盛岡市藪川*=0.7 久慈市枝成沢=0.6				
29	10 05 14	群馬県南部 栃木県	36° 32.7' N	139° 23.3' E	6km	M: 2.7
		1 日光市足尾町中才*=0.6				
30	10 11 01	鳥取県西部 島根県	35° 19.2' N	133° 18.0' E	11km	M: 3.6
		2 安来市伯太町東母里*=1.9 奥出雲町横田*=1.8 雲南市大東町大東=1.6 1 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*=1.4 奥出雲町三成*=1.3 邑南町瑞穂支所*=1.3 飯南町頓原*=1.0 松江市東出雲町掛屋*=0.8 雲南市木次町里方*=0.7 島根美郷町都賀本郷*=0.7 邑南町下口羽*=0.7 雲南市加茂町加茂中*=0.7 雲南市掛合町掛合*=0.6 松江市八雲町西岩坂*=0.6				
		鳥取県 岡山県 広島県				
		1 米子市東町*=1.3 日南町生山*=1.3 境港市東本町=1.0 日吉津村日吉津*=0.9 伯耆町溝口*=0.7 米子市博労町=0.7 伯耆町吉長*=0.7 1 新見市千屋実*=0.7 新見市哲西町矢田*=0.6 1 庄原市高野町*=1.4 神石高原町油木*=0.5				
31	10 17 05	新島・神津島近海 東京都	34° 28.1' N	139° 14.6' E	10km	M: 2.3
		1 新島村大原=0.7 新島村本村*=0.7 東京利島村東山=0.6				
32	11 02 25	石川県能登地方 石川県	37° 31.9' N	137° 17.5' E	12km	M: 2.6
		1 珠洲市正院町*=0.6				
33	11 12 16	根室半島南東沖 北海道	43° 07.5' N	146° 11.1' E	44km	M: 3.6
		1 根室市落石東*=0.5				
34	11 16 38	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.8' N	130° 44.8' E	11km	M: 3.3
		3 熊本西区春日=2.5 2 熊本南区域城南町*=2.3 熊本中央区大江*=1.8 嘉島町上島*=1.5 1 大津町引水*=1.4 宇城市豊野町*=1.4 和水町江田*=1.4 合志市御代志*=1.3 合志市竹迫*=1.3 大津町大津*=1.2 御船町御船*=1.2 熊本東区佐土原*=1.2 熊本北区植木町*=1.2 菊池市旭志*=1.1 西原村小森*=1.0 益城町惣領*=1.0 菊陽町久保田*=0.9 熊本南区富合町*=0.9 山鹿市老人福祉センター*=0.9 玉東町木葉*=0.8 山鹿市鹿央町*=0.8 熊本美里町馬場*=0.6 宇城市不知火町*=0.6 菊池市隈府*=0.6 菊池市七城町*=0.5 上天草市大矢野町=0.5				
35	11 19 41	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.8' N	130° 46.0' E	8km	M: 2.9
		2 嘉島町上島*=1.8 熊本西区春日=1.6 熊本南区域城南町*=1.5 1 熊本中央区大江*=1.3 熊本東区佐土原*=0.9 宇城市不知火町*=0.8 熊本南区富合町*=0.8 益城町惣領*=0.7				
36	11 19 57	熊本県熊本地方 熊本県	32° 45.7' N	130° 46.0' E	8km	M: 2.1
		1 熊本中央区大江*=0.5				
37	12 15 46	岡山県北部 岡山県	35° 08.0' N	134° 19.5' E	6km	M: 2.6
		1 美作市古町*=0.9 美作市太田*=0.9 西粟倉村影石*=0.8				
38	12 22 46	豊後水道 大分県	33° 04.1' N	132° 04.2' E	13km	M: 3.6
		2 佐伯市春日町*=1.8 佐伯市鶴見*=1.7 佐伯市上浦*=1.5 1 佐伯市弥生*=1.4 津久見市宮本町*=1.1 佐伯市米水津*=1.0 津久見市立花町*=0.9 佐伯市役所*=0.9				
		愛媛県 宮崎県				
		1 西予市明浜町*=0.6 1 高千穂町三田井=0.5				
39	13 01 13	父島近海 東京都	26° 27.2' N	141° 54.9' E	52km	M: -,-
		1 小笠原村母島=0.8				
40	13 03 44	岩手県沿岸北部 青森県 岩手県	40° 23.1' N	141° 43.9' E	107km	M: 4.0
		1 八戸市内丸*=0.7 階上町道仏*=0.7 八戸市湊町=0.5 青森南部町苦米地*=0.5 1 矢巾町南矢幅*=1.2 盛岡市藪川*=0.9 盛岡市山王町=0.9 遠野市青笹町*=0.9 宮古市田老*=0.6 宮古市区界*=0.5 釜石市中妻町*=0.5				
41	13 05 44	秋田県内陸南部 秋田県	39° 40.2' N	140° 43.7' E	7km	M: 3.5
		2 仙北市田沢湖生保内上清水*=2.0 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.8 仙北市西木町上桧木内*=1.6 仙北市田沢湖田沢*=1.5				
		1 大仙市北長野*=0.9 仙北市角館町小勝田*=0.7 岩手県 1 矢巾町南矢幅*=0.8 西和賀町沢内川舟*=0.5				
42	13 10 02	福島県沖	37° 42.7' N	141° 32.2' E	54km	M: 4.8
(注)	13 10 03	福島県沖 宮城県	37° 42.2' N	141° 31.4' E	52km	M: 4.4
		3 石巻市桃生町*=2.8 2 亘理町悠里*=2.4 山元町浅生原*=2.3 岩沼市桜*=2.3 丸森町鳥屋*=2.3 角田市角田*=2.3				

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>大河原町新南*2.2 大崎市松山*2.1 石巻市大街道南*2.0 丸森町上滝=2.0 蔵王町円田*2.0 栗原市瀬峰*2.0 宮城川崎町前川*2.0 柴田町船岡=1.9 東松島市小野*1.9 大崎市田尻*1.9 登米市中田町=1.8 名取市増田*1.8 東松島市矢本*1.8 松島町高城=1.8 利府町利府*1.7 大衡村大衡*1.7 登米市迫町*1.7 仙台太白区山田*1.7 宮城美里町木間塚*1.7 七ヶ浜町東宮浜*1.7 登米市南方町*1.6 仙台青葉区落合*1.6 大崎市鹿島台*1.6 大郷町粕川*1.6 大崎市古川三日町=1.6 大崎市古川旭*1.6 村田町村田*1.6 涌谷町新町裏=1.5 栗原市栗駒=1.5 登米市豊里町*1.5</p> <p>1 色麻町四竈*1.4 登米市米山町*1.4 宮城美里町北浦*1.4 石巻市相野谷*1.4 塩竈市今宮町*1.4 栗原市一迫*1.3 登米市東和町*1.3 宮城加美町中新田*1.3 仙台青葉区作並*1.3 仙台宮城野区五輪=1.3 仙台宮城野区苦竹*1.3 仙台若林区遠見塚*1.3 栗原市築館*1.3 栗原市高清水*1.3 栗原市若柳*1.3 石巻市鮎川浜*1.2 大崎市三本木*1.2 石巻市前谷地*1.2 仙台青葉区大倉=1.2 多賀城市中央*1.2 大和町吉岡*1.2 登米市登米町*1.2 仙台青葉区雨宮*1.2 栗原市金成*1.2 登米市石越町*1.2 仙台泉区将監*1.2 石巻市泉町=1.2 富谷市富谷*1.1 石巻市北上町*1.0 栗原市志波姫*1.0 気仙沼市赤岩=1.0 石巻市雄勝町*1.0 七ヶ宿町関*1.0 気仙沼市唐桑町*0.9 宮城加美町小野田*0.9 登米市津山町*0.8 気仙沼市笹が陣*0.8 女川町女川*0.8 石巻市大瓜=0.7 大崎市鳴子*0.6 南三陸町歌津*0.5</p> <p>3 国見町藤田*2.6 相馬市中村*2.6</p> <p>2 田村市船引町=2.4 福島伊達市前川原*2.4 福島伊達市梁川町*2.4 福島伊達市保原町*2.3 浪江町幾世橋=2.3 南相馬市鹿島区西町*2.3 大熊町大川原*2.2 双葉町長塚*2.2 新地町谷地小屋*2.2 福島市五老内町*2.2 飯館村伊丹沢*2.1 南相馬市原町区高見町*2.1 南相馬市小高区*2.1 檜葉町北田*2.0 郡山市朝日=2.0 桑折町谷地*2.0 田村市大越町*2.0 南相馬市原町区三島町=2.0 南相馬市鹿島区栞笹=2.0 田村市常葉町*2.0 田村市都路町*1.9 川俣町五百田*1.9 天栄村下松本*1.9 泉崎村泉崎*1.9 福島伊達市霊山町*1.9 玉川村小高*1.9 福島市松木町=1.8 福島市桜木町*1.8 葛尾村落合落合*1.8 中島村滑津*1.8 富岡町本岡*1.8 川内村上川内早渡*1.8 大玉村南小屋=1.7 本宮市白岩*1.7 郡山市開成*1.7 南相馬市原町区本町*1.7 川内村下川内=1.7 郡山市湖南町*1.7 棚倉町棚倉中居野=1.6 古殿町松川新桑原*1.6 白河市東*1.6 白河市表郷*1.6 須賀川市八幡山*1.6 須賀川市八幡町*1.6 二本松市油井*1.6 鏡石町不時沼*1.6 福島広野町下北迫大谷地原*1.6 須賀川市岩瀬支所*1.5 川内村上川内小山平*1.5 白河市新白河*1.5 大熊町野上*1.5 二本松市針道*1.5 矢吹町一本木*1.5 石川町長久保*1.5 福島伊達市月館町*1.5 白河市大信*1.5 いわき市三和町=1.5 いわき市平梅本*1.5 浅川町浅川*1.5 大玉村玉井*1.5</p> <p>1 本宮市本宮*1.4 福島市飯野町*1.3 須賀川市長沼支所*1.3 二本松市金色*1.3 小野町小野新町*1.3 白河市郭内=1.2 平田村永田*1.2 三春町大町*1.2 小野町中通*1.2 田村市滝根町*1.2 いわき市平四ツ波*1.2 福島広野町下北迫苗代替*1.2 いわき市名浜=0.9 いわき市錦町*0.9 矢祭町東館*0.9 猪苗代町城南=0.8 矢祭町戸塚*0.8 棚倉町棚倉館ヶ丘*0.7 鮫川村赤坂中野*0.5 古殿町松川横川=0.5</p> <p>岩手県 1 一関市千厩町*1.4 一関市東山町*1.4 一関市藤沢町*1.3 一関市室根町*1.3 一関市花泉町*1.2 住田町世田米*1.0 釜石市中妻町*0.9 奥州市胆沢*0.9 奥州市衣川*0.8 平泉町平泉*0.8 奥州市前沢*0.8 大船渡市大船渡町=0.8 一関市大東町=0.7 盛岡市山王町=0.6 盛岡市薮川*0.5 一関市竹山町*0.5</p> <p>山形県 1 米沢市林泉寺*1.1 中山町長崎*1.1 米沢市アルカディア=0.9 山形川西町上小松*0.9 白鷹町荒砥*0.9 上山市河崎*0.9 山辺町緑ヶ丘*0.8 河北町谷地=0.8 南陽市三間通*0.8 高島町高島*0.8 天童市老野森*0.6 米沢市駅前=0.6 東根市中央*0.6 長井市本町*0.5 米沢市金池*0.5</p> <p>茨城県 1 日立市助川小学校*1.4 笠間市石井*1.3 日立市役所*1.2 大子町池田*1.2 那珂市瓜連*1.2 東海村東海*1.1 常陸大宮市山方*1.1 常陸太田市金井町*1.0 常陸太田市高柿町*1.0 北茨城市磯原町*1.0 笠間市中央*1.0 城里町小勝*1.0 土浦市常名=1.0 石岡市柿岡=1.0 高萩市安良川*0.9 北茨城市中郷町*0.9 茨城町小堤*0.9 水戸市千波町*0.9 水戸市内原町*0.9 水戸市栗崎町*0.9 筑西市舟生=0.9 日立市十王町友部*0.9 ひたちなか市南神敷*0.8 水戸市金町=0.8 常陸大宮市北町*0.8 小美玉市堅倉*0.8 ひたちなか市東石川*0.7 石岡市若宮*0.7 筑西市門井*0.7 銚田市汲上*0.7 笠間市下郷*0.7 高萩市本町*0.6 常陸太田市町田町*0.6 つくば市天王台*0.5</p> <p>栃木県 1 那須町寺子*1.0 栃木那珂川町小川*1.0 大田原市黒羽田町=0.8 宇都宮市明保野町=0.7 芳賀町祖母井*0.7 那須烏山市神長=0.6 栃木那珂川町馬頭*0.6 那須塩原市鍋掛*0.5</p> <p>群馬県 1 邑楽町中野*0.6</p> <p>埼玉県 1 宮代町笠原*0.6</p>				
43	13 20 43	種子島近海 鹿児島県 1 南種子町西之*1.2 屋久島町尾之間*1.2 屋久島町宮之浦*0.7 屋久島町小瀬田=0.6 屋久島町平内=0.5	30° 13.7' N	130° 35.4' E	50km	M: 3.4
44	14 01 41	千葉県北西部 千葉県 1 千葉稲毛区園生町*0.5	35° 38.4' N	140° 04.0' E	70km	M: 3.2
45	14 02 24	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.8 熊本南区城南町*0.8	32° 45.8' N	130° 44.7' E	10km	M: 2.5
46	14 03 05	千葉県東方沖 千葉県 1 旭市ニ*0.5	35° 36.9' N	140° 47.9' E	15km	M: 3.0
47	14 03 18	釧路沖 北海道 2 根室市厚床*1.7 根室市落石東*1.6 1 別海町常盤=1.3 根室市瑠瑠瑠*1.2 浜中町茶内*1.1 釧路市黒金町*1.0 厚岸町尾幌=1.0	42° 29.0' N	145° 04.0' E	26km	M: 4.7

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
48	14 11 11	富山県東部 富山県 岐阜県	36° 28.3' N	137° 36.0' E	0km	M: 2.8
根室市牧の内*=1.0 浜中町湯沸=1.0 別海町本別海*=0.9 根室市弥栄=0.8 別海町西春別*=0.8 標茶町塘路*=0.8 白糠町西1条*=0.7 釧路市幸町=0.5 1 立山町吉峰=0.8 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=1.0 高山市上宝町本郷*=0.7 飛騨市市岡町東町*=0.6						
49	14 23 01	新潟県下越沖 新潟県	37° 53.0' N	138° 39.0' E	20km	M: 3.8
2 長岡市寺泊一里塚*=1.5 新潟西蒲区役所=1.5 1 長岡市寺泊敦ケ首根*=1.4 新潟南区白根*=1.4 新潟西蒲区巻甲*=1.4 新潟西区寺尾東*=1.1 魚沼市今泉*=1.0 長岡市寺泊烏帽子平*=0.8 長岡市与板町与板*=0.8 佐渡市河原田本町*=0.8 三条市荻堀*=0.7 新潟空港=0.7 燕市分水桜町*=0.6 三条市新堀*=0.6 長岡市金町*=0.6 小千谷市旭町*=0.5 三条市西裏館*=0.5						
50	15 08 28	福島県沖 福島県	37° 04.4' N	141° 13.5' E	59km	M: 3.6
1 白河市新白河*=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.5 浅川町浅川*=0.5 田村市船引町=0.5						
51	15 10 27	宮城県沖 岩手県	38° 44.7' N	142° 13.0' E	45km	M: 4.0
2 一関市千厩町*=1.8 1 大船渡市猪川町=0.9 一関市室根町*=0.9 住田町世田米*=0.8 釜石市中妻町*=0.8 一関市藤沢町*=0.5						
52	16 08 21	瀬戸内海中部 広島県	34° 15.9' N	133° 00.9' E	14km	M: 2.5
1 大崎上島町中野*=1.1 大崎上島町東野*=0.5						
53	17 06 18	長野県南部 長野県	35° 32.1' N	138° 01.0' E	16km	M: 2.8
1 中川村大草*=0.6 大鹿村大河原*=0.5						
54	17 10 46	沖縄本島近海 鹿児島県 沖縄県	26° 32.9' N	128° 44.5' E	24km	M: 5.3
2 与論町茶花*=1.8 1 与論町麦屋=1.2 知名町瀬利覚=1.1 和泊町和泊*=0.9 知名町知名*=0.7 和泊町国頭=0.6 2 国頭村辺土名*=2.1 大宜味村大宜味*=1.7 名護市港*=1.6 本部町役場*=1.6 1 国頭村奥=1.4 恩納村恩納*=1.4 東村平良*=1.2 うるま市石川石崎*=1.1 伊平屋村役場*=0.9 うるま市みどり町*=0.9 南城市知念久手堅*=0.9 中城村当間*=0.8 読谷村座喜味=0.8 名護市宮里=0.7 伊平屋村我喜屋=0.7 那覇市樋川=0.6 名護市豊原=0.6						
55	17 12 59	岩手県沖 岩手県	40° 06.6' N	142° 24.7' E	5km	M: 4.4
2 普代村銅屋*=1.6 1 宮古市田老*=0.7 盛岡市薮川*=0.5						
56	17 19 38	福岡県北西沖 福岡県	34° 04.1' N	130° 24.7' E	16km	M: 4.3
3 宗像市江口神原*=2.9 宗像市神湊*=2.9 2 新宮町緑ヶ浜*=2.2 福津市手光=2.1 福津市津屋崎*=2.1 宗像市大島*=2.1 小竹町勝野*=2.0 遠賀町今古賀*=2.0 水巻町項末*=1.9 福津市中央*=1.9 中間市長津*=1.9 中間市中間*=1.9 福岡古賀市駅東*=1.8 芦屋町幸町*=1.6 飯塚市立岩*=1.6 福岡空港=1.6 赤村内田*=1.5 宮若市宮田*=1.5 飯塚市志隈*=1.5 直方市新町*=1.5 1 粕屋町仲原*=1.4 みやこ町勝山上田*=1.4 福岡東区千早*=1.3 糸島市志摩初=1.3 行橋市今井*=1.3 福岡中央区大濠=1.3 飯塚市川島=1.3 嘉麻市大隈町*=1.3 福岡早良区百道浜*=1.3 福岡中央区舞鶴*=1.2 福岡川崎町田原*=1.2 糸島市前原東*=1.2 福岡博多区博多駅前*=1.2 岡垣町野間*=1.2 大野城市曙町*=1.1 宮若市福丸*=1.1 北九州八幡東区桃園=1.1 北九州八幡東区大谷*=1.1 飯塚市鹿毛馬*=1.1 春日市原町*=1.0 久留米市津福本町=1.0 糸島市二丈深江*=1.0 須恵町須恵*=1.0 糸田町役場*=1.0 久山町久原*=1.0 筑前町下高場=0.9 みやこ町犀川本庄*=0.9 みやこ町豊津*=0.9 志免町志免*=0.9 飯塚市長尾*=0.9 糸島市前原西*=0.9 鞍手町中山*=0.9 香春町高野*=0.9 福岡南区塩原*=0.9 北九州八幡西区相生町*=0.9 福智町弁城*=0.9 嘉麻市岩崎*=0.9 東峰村小石原*=0.8 飯塚市綱分*=0.8 嘉麻市上山田*=0.8 吉富町広津*=0.7 太宰府市観世音寺*=0.7 朝倉市堤*=0.6 大任町大行事*=0.6 北九州小倉南区横代東町*=0.5 福岡早良区板屋=0.5 山口県 2 下関市豊北町角島*=1.5 1 下関市豊浦町浄水場*=1.4 萩市土原=1.2 萩市須佐*=1.1 長門市新別名*=1.0 長門市三隅*=1.0 美祢市秋芳町秋吉*=0.9 下関市清未陣屋*=0.9 萩市川上*=0.9 長門市深川中学校*=0.9 山口市前町=0.8 萩市福井*=0.8 萩市下田万*=0.7 萩市見島宇津=0.7 防府市西浦*=0.6 萩市江向*=0.6 柳井市南町*=0.6 美祢市大嶺町*=0.6 長門市東深川*=0.5 長門市日置*=0.5 山口市秋徳二島*=0.5 山口市阿東徳佐*=0.5 下関市豊北町滝部*=0.5 下松市大手町*=0.5 宇部市船木*=0.5 佐賀県 2 唐津市竹木場*=1.5 唐津市肥前*=1.5 1 佐賀市三瀬*=1.4 唐津市西城内=1.3 唐津市相知*=1.0 唐津市北波多*=1.0 武雄市北方*=1.0 みやき町北茂安*=1.0 唐津市鎮西町*=0.9 唐津市呼子*=0.9 佐賀市久保田*=0.9 江北町山口*=0.8 嬉野市下宿乙*=0.8 吉野ヶ里町三田川*=0.8 唐津市浜玉*=0.8 佐賀市大和*=0.8 鳥栖市宿町*=0.8 伊万里市立花町*=0.7 上峰町坊所*=0.7 白石町有明*=0.7 みやき町三根*=0.6 佐賀市駅前中央=0.5 長崎県 2 平戸市鏡川町*=2.2 平戸市岩の上町=1.9 松浦市志佐町*=1.7 1 壱岐市郷ノ浦町*=1.3 佐々町本田原*=1.1 長崎対馬市峰町*=1.1 壱岐市石田町*=1.1 佐世保市千尽町=1.0 平戸市志々伎町*=1.0 松浦市鷹島町*=1.0 長崎対馬市巖原町国分*=1.0 平戸市生月町*=0.8 長崎対馬市巖原町東里=0.8 長崎対馬市豊玉町*=0.8 長崎対馬市上対馬町*=0.7						

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐世保市世知原町*0.7 長崎対馬市上県町飼所=0.5 老岐市芦辺町中野=0.5 島根県 1 益田市常盤町*0.8 浜田市三隅町三隅*0.6 大分県 1 中津市三光*0.8 中津市上宮永=0.7 中津市豊田町*0.7 中津市耶馬溪町*0.6 宇佐市上田*0.5 別府市天間=0.5				
57	18 04 08	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東*0.6	43° 45.0' N	147° 08.5' E	0km	M: 4.4
58	19 17 40	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町*0.5 1 石巻市桃生町*1.0	38° 20.8' N	141° 39.7' E	52km	M: 3.4
59	19 17 50	福島県沖 福島県 3 福島広野町下北迫大谷地原*2.7 川内村下川内=2.6 大熊町大川原*2.6 檜葉町北田*2.5 2 川内村上川内早渡*2.4 田村市都路町*2.3 葛尾村落合落合*2.3 浪江町幾世橋=2.1 南相馬市小高区*2.1 田村市常葉町*2.0 浅川町浅川*2.0 田村市船引町=1.9 いわき市平四ツ波*1.9 双葉町長塚*1.7 福島広野町下北迫苗代替*1.7 川内村上川内小山平*1.7 小野町小野新町*1.7 田村市滝根町*1.6 いわき市三和町=1.6 白河市新白河*1.6 いわき市平梅本*1.6 古殿町松川新桑原*1.6 富岡町本岡*1.6 田村市下松本*1.5 川俣町五百田*1.5 飯館村伊丹沢*1.5 大熊町野上*1.5 平田村永田*1.5 1 石川町長久保*1.4 古殿町松川横川=1.4 小野町中通*1.4 二本松市針道*1.3 玉川村小高*1.3 いわき市錦町*1.3 南相馬市原町区高見町*1.3 泉崎村泉崎*1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 須賀川市岩瀬支所*1.2 相馬市中村*1.2 白河市東*1.2 南相馬市鹿島区栲窪=1.1 南相馬市原町区三島町=1.0 いわき市小名浜=1.0 矢祭町戸塚*1.0 天栄村下松本*0.9 須賀川市八幡山*0.9 白河市郭内=0.9 新地町谷地小屋*0.8 南相馬市鹿島区西町*0.8 鏡石町不時沼*0.8 福島伊達市霊山町*0.7 郡山市開成*0.6 二本松市油井*0.6 本宮市本宮*0.5 福島伊達市梁川町*0.5 二本松市金色*0.5 茨城県 2 北茨城市磯原町*1.6 1 北茨城市中郷町*1.1 高萩市安良川*1.0 日立市助川小学校*0.9 日立市十王町友部*0.9 大子町池田*0.9 高萩市本町*0.8 日立市役所*0.6 常陸大宮市山方*0.6 笠間市石井*0.5 常陸太田市町屋町=0.5 宮城県 1 山元町浅生原*1.0 岩沼市桜*0.9 亶理町悠里*0.8 丸森町上滝=0.7 名取市増田*0.6 角田市角田*0.5	37° 06.5' N	141° 06.8' E	52km	M: 4.0
60	20 03 55	十勝地方中部 北海道 3 浦幌町桜町*3.4 帯広市東6条*2.6 幕別町志類明和=2.5 帯広市東4条=2.5 十勝大樹町生花*2.5 2 釧路市音別町中園*2.4 十勝清水町南4条=2.3 十勝池田町西1条*2.3 新得町2条*2.3 豊頃町茂岩本町*2.2 本別町北2丁目=2.2 本別町向陽町*2.2 釧路市阿寒町中央*2.2 幕別町本町*2.2 鹿追町東町*2.1 安平町早来北進*2.1 新冠町北星町*2.0 更別村更別*2.0 十勝大樹町東本通*2.0 芽室町東2条*2.0 音更町元町*2.0 標茶町塘路*2.0 弟子屈町弟子屈*1.9 足寄町上蝶湾=1.9 白糠町西1条*1.9 根室市厚床*1.9 釧路市音別町尺別=1.8 幕別町志類錦町*1.8 足寄町南1条*1.7 むかわ町穂別*1.7 中札内村東2条*1.7 釧路町別保*1.7 むかわ町松風*1.6 鶴居村鶴居東*1.6 函館市新浜町*1.6 広尾町白樺通=1.5 上士幌町清水谷*1.5 上士幌町上士幌*1.5 釧路市黒金町*1.5 安平町追分柏が丘*1.5 1 函館市泊町*1.4 南富良野町役場*1.4 浦河町潮見=1.4 士幌町士幌*1.4 別海町常盤=1.4 別海町西春別*1.4 厚岸町尾幌=1.3 標茶町川上*1.3 厚真町鹿沼=1.3 厚真町京町*1.3 別海町本別海*1.3 平取町振内*1.3 新ひだか町静内山手町=1.3 三笠市幸町*1.3 岩見沢市栗沢町東本町*1.3 広尾町並木通=1.3 長沼町中央*1.2 浦河町築地*1.2 日高地方日高町門別*1.2 新ひだか町三石旭町*1.2 弟子屈町美里=1.2 浦河町野深=1.2 根室市落石東*1.1 千歳市支笏湖温泉*1.1 千歳市若草*1.1 北見市留辺蘂町栄*1.1 えりも町目黒*1.1 陸別町陸別*1.0 新ひだか町静内御園=1.0 釧路市幸町=1.0 根室市瑠璃瑠*1.0 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*0.9 北見市留辺蘂町上町=0.9 北広島市共栄*0.9 千歳市北栄=0.9 占冠村中央*0.8 新ひだか町静内農屋*0.8 札幌手稲区前田*0.8 南富良野町幾寅=0.8 苫小牧市旭町*0.8 様似町栄町*0.8 函館市川汲町*0.8 えりも町えりも岬*0.8 新千歳空港=0.7 江別市緑町*0.7 由仁町新光*0.7 札幌北区太平*0.7 浜中町茶内*0.7 日高地方日高町日高*0.7 札幌東区元町*0.6 岩見沢市5条=0.6 月形町円山公園*0.6 苫小牧市末広町=0.6 函館市尾札部町=0.6 登別市桜木町*0.6 札幌厚別区もみじ台*0.6 中標津町養老牛=0.5 浜中町湯沸=0.5 青森県 2 階上町道仏*1.8 東通村砂子又沢内*1.7 八戸市湊町=1.6 八戸市内丸*1.6 野辺地町田狭沢*1.5 五戸町倉石中市*1.5 1 八戸市南郷*1.4 野辺地町野辺地*1.4 東北町上北南*1.4 五戸町古館=1.4 平内町小湊=1.3 青森南部町苦米地*1.3 むつ市大畑町中島*1.3 青森南部町平*1.2 東通村砂子又蒲谷地=1.2 おいらせ町中下田*1.1 七戸町森ノ上*1.1 むつ市金曲=1.0 東北町塔ノ沢山*0.9 六ヶ所村尾駈=0.9 六戸町大落瀬*0.9 おいらせ町上明堂*0.8 むつ市金谷*0.8 横浜町林ノ脇*0.8 三戸町在府小路町*0.8 青森南部町沖田面*0.7 十和田市西十二番町*0.6 むつ市川内町*0.6 七戸町七戸*0.6 風間浦村易国間*0.5 横浜町寺下*0.5 十和田市奥瀬*0.5 大間町大間*0.5 岩手県 1 盛岡市藪川*1.4 久慈市枝成沢=1.0 二戸市浄法寺町*1.0 軽米町軽米*1.0 盛岡市山王町=0.9 釜石市中妻町*0.8 盛岡市洪民*0.8 岩手洋野町種町=0.7 岩手洋野町大野*0.7 住田町世田米*0.7 一関市千厩町*0.7 一関市室根町*0.7 八幡平市田頭*0.6 九戸村伊保内*0.6 遠野市青笹町*0.6 一関市大東町=0.5 宮古市老*0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*0.9 登米市登米町*0.7 登米市迫町*0.7 岩沼市桜*0.5	42° 46.8' N	143° 11.7' E	118km	M: 4.9

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
61	20 08 56	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 18.0' N	141° 34.8' E	55km	M: 3.8
		1 一関市室根町*=0.6 1 岩沼市桜*=1.2 松島町高城=1.2 東松島市矢本*=1.1 東松島市小野*=1.0 柴田町船岡=1.0 石巻市桃生町*=1.0 宮城川崎町前川*=0.9 亘理町悠里*=0.9 大衡村大衡*=0.9 石巻市北上町*=0.8 登米市南方町*=0.8 登米市石越町*=0.8 仙台宮城野区苦竹*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 石巻市泉町=0.6 仙台北空港=0.6 仙台青葉区大倉=0.6 登米市東和町*=0.5 塩竈市今宮町*=0.5 大崎市鹿島台*=0.5				
62	20 14 46	大分県南部 宮崎県	32° 46.7' N	131° 52.7' E	49km	M: 3.4
		2 延岡市北川町川内名白石*=1.5 1 延岡市北浦町古江*=1.2 延岡市天神小路=1.0 門川町平城東*=1.0 宮崎美郷町田代*=0.8 延岡市北方町卯*=0.7 高千穂町三田井=0.6 延岡市東本小路*=0.5 大分県 1 佐伯市鶴見*=1.1 佐伯市上浦*=1.1 佐伯市春日町*=1.0 佐伯市米水津*=0.7 佐伯市宇目*=0.7 佐伯市直川*=0.7 津久見市立花町*=0.6				
63 (注)	20 15 34 20 15 34	長野県北部 長野県北部 長野県	36° 41.7' N 36° 40.7' N	138° 23.9' E 138° 25.6' E	2km 2km	M: 3.3 M: 2.9
		2 山ノ内町消防署*=2.2 長野市豊野町豊野*=1.9 須坂市須坂*=1.7 山ノ内町平穏=1.5 1 中野市三好町*=1.3 坂城町坂城*=1.3 千曲市上山田温泉*=1.3 小布施町小布施*=1.1 長野市箱清水=0.9 飯綱町芋川*=0.8 長野市鶴賀緑町*=0.7 上田市築地=0.7 千曲市杭瀬下*=0.6 上田市真田町長*=0.6 上田市下武石*=0.5 筑北村坂井=0.5				
64	21 07 47	石川県能登地方 石川県	37° 30.5' N	137° 13.6' E	13km	M: 3.2
		2 珠洲市正院町*=1.5 1 珠洲市大谷町*=0.6				
65	21 08 39	千葉県北東部 千葉県	35° 24.4' N	140° 21.8' E	29km	M: 3.3
		2 長南町総合グラウンド=1.7 市原市姉崎*=1.6 1 一宮町一宮=1.4 長生村本郷*=1.4 大網白里市大網*=1.3 茂原市道表*=1.0 木更津市富士見*=1.0 睦沢町下之郷*=0.9 九十九里町片貝*=0.9 君津市久留里市場*=0.9 いすみ市府台*=0.9 いすみ市岬町長者*=0.9 長柄町桜谷*=0.8 いすみ市大原*=0.8 東金市日吉台*=0.6 東金市東新宿=0.6 千葉花見川区花島町*=0.5 千葉中央区中央港=0.5 勝浦市墨名=0.5 勝浦市新官*=0.5				
66	21 14 41	和歌山県北部 和歌山県	34° 06.1' N	135° 13.1' E	5km	M: 2.2
		1 海南市下津*=0.6 紀美野町下佐々*=0.6				
67	21 22 53	石川県能登地方 石川県	37° 31.5' N	137° 16.4' E	12km	M: 4.1
		3 珠洲市正院町*=2.8 2 珠洲市大谷町*=2.1 能登町松波*=1.8 珠洲市三崎町=1.6 1 輪島市鳳至町=1.1 能登町宇出津=1.1 能登町柳田*=0.9 輪島市舳倉島=0.7 穴水町大町*=0.7 輪島市河井町*=0.5				
68	21 23 02	石川県能登地方 石川県	37° 31.3' N	137° 16.4' E	11km	M: 2.7
		1 珠洲市正院町*=0.8				
69	22 02 00	石垣島北西沖 沖縄県	25° 02.8' N	123° 21.4' E	133km	M: 4.4
		1 竹富町大原=0.8 石垣市新栄町*=0.5				
70	22 05 38	浦河沖 北海道	42° 04.9' N	142° 41.2' E	52km	M: 3.5
		1 浦河町野深=0.5				
71	22 09 32	岩手県沖 岩手県	39° 42.4' N	142° 07.9' E	48km	M: 3.2
		1 宮古市鉾ヶ崎=0.6				
72	22 15 34	兵庫県南西部 兵庫県	34° 50.4' N	134° 44.2' E	15km	M: 3.0
		1 姫路市林田*=0.5				
73	23 23 40	長野県南部 長野県	35° 50.7' N	137° 34.4' E	4km	M: 2.5
		1 木曾町三岳*=1.1 木曾町新開*=0.5				
74	24 04 23	岩手県沖 岩手県	39° 38.1' N	142° 06.5' E	49km	M: 3.7
		1 宮古市鉾ヶ崎=1.0 宮古市川井*=0.9 宮古市田老*=0.9 山田町大沢*=0.9 花巻市大迫総合支所*=0.8 花巻市大迫町=0.7 宮古市五月町*=0.7 山田町八幡町=0.6 宮古市区界*=0.6				
75	24 04 39	伊豆大島近海 東京都	34° 33.5' N	139° 16.6' E	6km	M: 2.1
		1 東京利島村東山=1.2				
76	24 06 22	浦河沖 北海道	42° 02.4' N	142° 36.5' E	65km	M: 3.5
		1 新ひだか町三石旭町*=0.6				

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
77	24 13 17	釧路沖 北海道 1 根室市牧の内*0.9	42° 55.8' N	145° 25.5' E	44km	M: 3.4
78	24 16 15	伊豆大島近海 東京都 1 東京利島村東山=1.3	34° 33.3' N	139° 16.8' E	5km	M: 2.1
79	24 17 10	岩手県沿岸北部 岩手県 1 遠野市青笹町*1.3 宮古市茂市*1.2 宮古市川井*0.9 普代村銅屋*0.7 宮古市田老*0.7 宮古市区界*0.6 住田町世田米*0.6 葛巻町葛巻元木*0.6 花巻市大迫総合支所*0.6 田野畑村田野畑=0.6 一関市室根町*0.6 久慈市枝成沢=0.5 盛岡市藪川*0.5	39° 45.5' N	141° 50.7' E	58km	M: 3.6
80	25 09 48	宮城県沖 宮城県 2 気仙沼市笹が陣*1.6 岩手県 1 気仙沼市唐桑町*0.9 気仙沼市赤岩=0.7 大崎市田尻*0.6 石巻市桃生町*0.6 登米市東和町*0.5 1 住田町世田米*1.3 大船渡市大船渡町=1.0 陸前高田市高田町*0.9 一関市室根町*0.9 大船渡市猪川町=0.7 一関市千厩町*0.7 釜石市中妻町*0.6 一関市藤沢町*0.6 一関市大東町=0.5 釜石市只越町=0.5	38° 54.4' N	142° 07.6' E	44km	M: 3.8
81	25 11 19	茨城県南部 茨城県 1 笠間市下郷*1.3 城里町小勝*1.2 水戸市内原町*1.2 坂東市馬立*1.1 笠間市石井*1.0 小美玉市小川*1.0 石岡市柿岡=1.0 常陸大宮市北町*0.9 石岡市石岡*0.9 筑西市門井*0.8 笠間市中央*0.7 石岡市若宮*0.7 小美玉市堅倉*0.7 土浦市常名=0.6 下妻市本城町*0.5 坂東市山*0.5 栃木県 1 栃木市旭町=1.4 下野市笹原*1.1 下野市田中*1.0 壬生町壬生甲*0.9 宇都宮市明保野町=0.6 茂木町茂木*0.5 群馬県 1 板倉町板倉=0.6	36° 03.4' N	139° 55.7' E	45km	M: 3.4
82	25 12 49	千葉県南東沖 千葉県 1 木更津市富士見*1.0 大多喜町大多喜*0.8 館山市北条*0.8 館山市長須賀=0.8 市原市姉崎*0.7 南房総市白浜町白浜*0.7 君津市久留里市場*0.6 鴨川市横渚*0.6 長南町総合グラウンド=0.5 鴨川市八色=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=1.0 東京大田区本羽田*0.7 東京渋谷区宇田川町*0.7 東京渋谷区本町*0.7 東京世田谷区三軒茶屋*0.5 神奈川県 1 川崎市崎区宮前町*1.1	34° 53.6' N	140° 02.6' E	68km	M: 3.9
83	25 18 16	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市下地*1.5 宮古島市上野支所*1.5 宮古島市下地島空港*1.5 1 宮古島市伊良部前里添=1.4 宮古島市城辺福西*1.3 多良間村仲筋*1.2 宮古島市平良西里*1.2 宮古島市平良下里=1.1 宮古島市城辺福北=1.1 宮古島市平良池間=1.1 宮古島市平良狩俣*1.0 宮古島市上野新里=0.7	24° 36.9' N	124° 55.5' E	61km	M: 4.3
84	25 19 25	沖縄本島北西沖 沖縄県 3 久米島町比嘉*2.7 2 久米島町謝名堂=2.2 1 渡名喜村渡名喜*1.3 久米島町仲泊*0.9 久米島町山城=0.5 粟国村浜=0.5	27° 07.8' N	126° 39.7' E	29km	M: 4.9
85	25 22 27	釧路沖 北海道 5弱 標津町北2条*4.7 根室市落石東*4.7 根室市厚床*4.6 根室市瑠瑠瑠*4.5 4 釧路市黒金町*4.4 厚岸町尾幌=4.4 別海町西春別*4.4 別海町常盤=4.3 弟子屈町弟子屈*4.3 根室市牧の内*4.2 標茶町塘路*4.1 浜中町茶内*4.1 浜中町湯沸=4.0 釧路町別保*4.0 釧路市幸町=3.9 中標津町養老牛=3.8 別海町本別海*3.8 釧路市阿寒町中央*3.8 鶴居村鶴居東*3.7 弟子屈町美里=3.7 中標津町丸山*3.6 羅臼町岬町*3.6 標茶町川上*3.6 白糠町西1条*3.5 根室市弥栄=3.5 十勝大樹町生花*3.5 3 清里町羽衣町*3.3 釧路市音別町中園*3.3 十勝池田町西1条*3.2 浦幌町桜町*3.2 足寄町上蝶湾=3.2 羅臼町緑町*3.2 弟子屈町サワフチサップ*3.1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*3.1 標津町薫別*3.0 十勝清水町南4条=3.0 根室市豊里=3.0 幕別町本町*2.9 鹿追町東町*2.9 標津町古多糠=2.9 足寄町南1条*2.9 羅臼町春日=2.9 十勝大樹町東本通*2.9 新得町2条*2.9 斜里町ウトロ香川*2.8 広尾町並木通=2.8 小清水町小清水*2.8 大空町東藻琴*2.8 北見市留辺蘂町栄町*2.8 大空町女満別西3条*2.7 更別村更別*2.7 美幌町東3条=2.7 斜里町本町=2.7 北見市公園町=2.6 北見市常呂町常呂*2.6 本別町北2丁目=2.6 本別町向陽町*2.6 津別町幸町*2.5 幕別町忠類錦町*2.5 訓子府町東町*2.5 2 遠軽町生田原*2.4 広尾町白樺通=2.4 釧路市音別町尺別=2.4 佐呂間町永代町*2.3 函館市新浜町*2.3 湧別町栄町*2.3 むかわ町松風*2.3 新冠町北星町*2.3 音更町元町*2.3 芽室町東2条*2.3 豊頃町茂岩本町*2.3 中札内村東2条*2.3 南富良野町役場*2.3 網走市南6条*2.3 北見市留辺蘂町上町=2.3 北見市常呂町東浜=2.2 猿払村浅茅野*2.2 幕別町忠類明和=2.2 帯広市東4条=2.2 帯広市東6条*2.2 安平町早来北進*2.1 陸別町陸別*2.1 北見市端野町二区*2.1 むかわ町穂別*2.1 上士幌町上士幌*2.0 札幌北區太平*2.0 北見市南仲町*2.0 網走市台町=2.0 長沼町中央*2.0 千歳市若草*2.0 浦河町潮見=2.0 士幌町士幌*1.9 北見市留辺蘂町富士見*1.9 えりも町目黒*1.9 上士幌町清水谷*1.9 厚真町鹿沼=1.9 札幌東区元町*1.9 置戸町拓殖*1.9 札幌北區篠路*1.9 函館市泊町*1.9 遠軽町丸瀬布金湧山=1.8 日高地方日高町門別*1.8 遠軽町学田*1.8 新ひだか町静内山手町=1.8 新篠津村第47線*1.8 浦河町築地*1.8 様似町栄町*1.8 南幌町栄町*1.8 興部町興部*1.8 千歳市支笏湖温泉*1.8 厚真町京町*1.8 中富良野町本町*1.8 千歳市北栄=1.8 三笠市幸町*1.7	42° 45.3' N	145° 04.5' E	63km	M: 6.0

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>札幌北区新琴似*1.7 安平町追分柏が丘*1.7 美唄市西5条=1.7 江別市緑町*1.6 平取町振内*1.6 富良野市若松町=1.6 湧別町上湧別*1.6 札幌白石区北郷*1.6 札幌手稲区前田*1.6 栗山町松風*1.5 札幌清田区平岡*1.5 富良野市末広町*1.5 札幌厚別区もみじ台*1.5 紋別市北浜町*1.5 南富良野町幾寅=1.5 函館市川汲町*1.5 岩見沢市北村赤川*1.5 新ひだか町三石旭町*1.5 浦河町野深=1.5 新千歳空港=1.5 美唄市西3条*1.5 石狩市聚富=1.5 胆振伊達市大滝区本町*1.5 石狩市花畔*1.5 北広島市共栄*1.5</p> <p>1 岩見沢市栗沢町東本町*1.4 占冠村中央*1.4 紋別市南が丘町=1.4 登別市桜木町*1.4 えりも町えりも岬*1.4 岩見沢市鳩が丘*1.3 白老町大町=1.3 石狩市花川=1.3 鹿部町宮浜*1.3 渡島森町砂原*1.3 苫小牧市末広町=1.3 苫小牧市旭町*1.3 日高地方日高町日高*1.2 赤井川村赤井川*1.2 白老町緑丘*1.2 江別市高砂町=1.1 岩見沢市5条=1.1 遠軽町白滝*1.1 月形町円山公園*1.1 上川地方上川町花園町*1.1 恵庭市京町*1.0 函館市尾札部町=1.0 函館市大森町*1.0 札幌南区石山*1.0 由仁町新光*1.0 札幌豊平区月寒東*1.0 下川町北町*1.0 小樽市勝納町=1.0 上富良野町大町=1.0 新ひだか町静内御園=1.0 新ひだか町静内農屋*0.9 函館市日ノ浜町*0.9 札幌西区琴似*0.9 美瑛町忠別*0.9 胆振伊達市梅本=0.9 胆振伊達市末永町*0.9 余市町浜中町*0.9 渡島森町御幸町=0.8 札幌中央区北2条=0.8 函館市美原=0.8 えりも町本町=0.8 札幌中央区南4条*0.8 石狩市厚田*0.8 札幌南区川沿*0.8 新得町トムラウシ*0.7 渡島森町上台町*0.7 長万部町平里*0.7 七飯町本町*0.7 登別市鉱山=0.7 余市町朝日町=0.6 福島町福島*0.6 七飯町桜町=0.6 上川地方上川町清川*0.6 喜茂別町喜茂別*0.6 芦別市旭町=0.5</p> <p>3 八戸市南郷*2.5</p> <p>2 東通村砂子又沢内*2.4 野辺地町田狭沢*2.3 東北町上北南*2.3 野辺地町野辺地*2.2 七戸町森ノ上*2.2 五戸町古館=2.2 八戸市内丸*2.1 青森南部町平*2.1 八戸市湊町=2.0 青森南部町苦米地*1.9 階上町道仏*1.9 東通村砂子又蒲谷地=1.9 平内町湊=1.9 五戸町倉石中市*1.8 おいらせ町中下田*1.8 むつ市金曲=1.8 むつ市大畑町中島*1.8 三沢市桜町*1.7 七戸町七戸*1.6 六戸町犬落瀬*1.6 むつ市金谷*1.6 六ヶ所村尾駈=1.6 三戸町在府小路町*1.6 東北町塔ノ沢山*1.5 おいらせ町上明堂*1.5</p> <p>1 青森市浪岡*1.4 十和田市西十二番町*1.4 むつ市川内町*1.4 横浜町林ノ脇*1.3 横浜町寺下*1.3 十和田市西二番町*1.2 青森市中央*1.2 六ヶ所村出戸=1.2 青森南部町沖田面*1.2 藤崎町西豊田*1.2 平内町東田沢*1.1 中泊町中里*1.1 十和田市奥瀬*1.1 青森市花園=1.1 五所川原市金木町*1.0 大間町大間*1.0 蓬田村蓬田*1.0 藤崎町水木*1.0 今別町今別*0.9 つがる市柏*0.9 田子町田子*0.9 つがる市稲垣町*0.9 むつ市脇野沢*0.9 東通村白糠*0.9 黒石市市ノ町*0.8 田舎館村田舎館*0.8 八戸市島守=0.8 東通村尻屋*0.8 鶴岡町鶴岡*0.8 平川市猿賀*0.7 佐井村長後*0.7 風間浦村易国間*0.6 むつ市大畑町奥薬研=0.6 つがる市森田町*0.6 五所川原市相内*0.5 外ヶ浜町平館*0.5</p> <p>2 盛岡市薮川*2.1 一関市千厩町*1.9 矢巾町南矢幅*1.8 釜石市中妻町*1.7 盛岡市渋民*1.7 二戸市浄法寺町*1.7 軽米町軽米*1.7 宮古市田老*1.7 普代村銅屋*1.6 野田村野田*1.5 住田町世田米*1.5 一戸町高善寺*1.5 八幡平市田頭*1.5 紫波町紫波中央駅前*1.5 滝沢市鶴飼*1.5 遠野市青笹町*1.5 一関市室根町*1.5 奥州市胆沢*1.5</p> <p>1 久慈市枝成沢=1.4 平泉町平泉*1.4 奥州市江刺*1.4 大船渡市大船渡町=1.3 釜石市越町=1.3 岩手町五日市*1.3 花巻市材木町*1.3 北上市相去町*1.3 遠野市宮守町*1.3 二戸市福岡=1.2 八幡平市野駄*1.2 九戸村伊保内*1.2 花巻市大迫町=1.2 花巻市石鳥谷町*1.2 花巻市東和町*1.2 一関市大東町=1.2 一関市花泉町*1.2 一関市藤沢町*1.2 奥州市前沢*1.2 八幡平市叭田*1.1 宮古市区界*1.1 山田町大沢*1.1 岩手洋野町種市=1.1 一関市東山町*1.1 金ヶ崎町西根*1.1 二戸市石切所*1.1 奥州市水沢大鐘町=1.1 葛巻町葛巻元木=1.1 奥州市衣川*1.1 八幡平市大更=1.1 雫石町千刈田=1.0 奥州市水沢佐倉河*1.0 宮古市五月町*1.0 宮古市川井*1.0 北上市柳原町=1.0 山田町八幡町=1.0 花巻市大迫総合支所*0.9 岩手洋野町大野*0.9 大船渡市猪川町=0.9 盛岡市馬場町*0.9 一関市竹山町*0.9 宮古市鉄ヶ崎=0.9 陸前高田市高田町*0.8 大槌町小鎗*0.8 久慈市川崎町=0.8 大船渡市盛町*0.7 久慈市長内町*0.6 葛巻町消防分署*0.5 田野畑村役場*0.5</p> <p>2 涌谷町新町裏=2.1 石巻市桃生町*2.1 登米市迫町*1.9 宮城美里町木間塚*1.7 登米市米山町*1.6 気仙沼市赤岩=1.5 気仙沼市唐桑町*1.5 登米市中田町=1.5 登米市登米町*1.5 登米市南方町*1.5 松島町高城=1.5</p> <p>1 気仙沼市笹が陣*1.4 栗原市若柳*1.4 大崎市古川旭*1.4 大崎市松山*1.4 大崎市田尻*1.4 岩沼市桜*1.4 石巻市大街道南*1.4 登米市豊里町*1.3 大崎市古川三日町=1.3 名取市増田*1.3 石巻市相野谷*1.3 東松島市矢本*1.3 栗原市栗駒=1.2 栗原市志波姫*1.2 大崎市鹿島台*1.2 石巻市前谷地*1.2 栗原市築館*1.1 栗原市一迫*1.1 登米市東和町*1.1 宮城美里町北浦*1.1 丸森町鳥屋*1.1 山元町浅生原*1.1 色麻町四籠*1.1 角田市角田*1.0 亘理町悠里*1.0 仙台宮城野区苦竹*1.0 石巻市泉町=1.0 石巻市北上町*1.0 蔵王町円田*0.9 大河原町新南*0.9 宮城加美町中新田*0.9 栗原市清水*0.9 栗原市金成*0.9 東松島市小野*0.9 利府町利府*0.9 栗原市瀬峰*0.8 宮城川崎町前川*0.8 仙台空港=0.8 大郷町柏川*0.8 栗原市鶯沢*0.7 南三陸町歌津*0.6 仙台宮城野区五輪=0.6</p> <p>2 田村市大越町*1.6 田村市滝根町*1.6</p> <p>1 古殿町松川新桑原*1.3 相馬市中村*1.3 大熊町大川原*1.3 双葉町長塚*1.3 国見町藤田*1.1 玉川村小高*1.1 南相馬市鹿島区西町*1.1 檜葉町北田*1.0 須賀川市八幡山*0.9 川俣町五百田*0.9 石川町長久保*0.9 いわき市三和町=0.9 飯館村伊丹沢*0.9 南相馬市小高区*0.9 二本松市針道*0.8 天栄村下松本*0.8 田村市船引町*0.8 田村市常葉町*0.8 田村市都路町*0.8 福島伊達市霊山町*0.8 富岡町本岡*0.8 浪江町幾世橋=0.8 新地町谷地小屋*0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 浅川町浅川*0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 郡山市朝日=0.7 本宮市本宮*0.7 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 川内村上川内早渡*0.7 福島市桜木町*0.6 南相馬市原町区高見町*0.6 白河市新白河*0.6 二本松市油井*0.6 いわき市平四ツ波*0.6 福島市松木町=0.6 郡山市湖南町*0.5 小野町小野新町*0.5</p>				
		青森県				
		岩手県				
		宮城県				
		福島県				

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		秋田県 山形県 茨城県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都				
		1 鹿角市花輪*=0.9 大崎市高梨*=0.8 横手市大雄*=0.7 1 中山町長崎*=1.1 1 常陸太田市金井町*=1.3 笠間市石井*=1.3 筑西市舟生=1.1 東海村東海*=0.9 土浦市常名=0.9 日立市助川小学校*=0.8 笠間市下郷*=0.8 水戸市内原町*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 常陸大宮市山方*=0.7 石岡市柿岡=0.7 水戸市千波町*=0.6 水戸市栗崎町*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 石岡市若宮*=0.6 つくば市天王台*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 筑西市門井*=0.5 水戸市金町=0.5 1 邑楽町中野*=0.6 千代田町赤岩*=0.5 1 宮代町笠原*=0.9 久喜市下早見=0.6 春日部市金崎*=0.6 川島町下八ツ林*=0.6 1 千葉美浜区ひび野=0.8 1 東京千代田区大手町=0.5				
86	26 03 04	宗谷地方北部 北海道	44° 59.7' N	142° 04.6' E	19km	M: 2.3
87	26 09 28	能登半島沖 石川県	37° 31.0' N	137° 14.9' E	12km	M: 4.0
		3 珠洲市正院町*=3.0 2 珠洲市三崎町=1.9 能登町松波*=1.8 珠洲市大谷町*=1.5 1 能登町宇出津=0.6 輪島市鳳至町=0.5				
88	26 12 53	石川県能登地方 石川県	37° 30.9' N	137° 14.8' E	12km	M: 3.5
		2 珠洲市正院町*=2.3 1 珠洲市三崎町=1.1 珠洲市大谷町*=1.1				
89	26 18 51	福島県沖 宮城県 福島県	37° 27.7' N	141° 19.4' E	35km	M: 3.9
		1 岩沼市桜*=0.9 石巻市桃生町*=0.7 蔵王町円田*=0.6 1 檜葉町北田*=1.4 浪江町幾世橋=0.9 大熊町大川原*=0.5				
90	27 03 58	択捉島付近 北海道	44° 29.2' N	146° 44.3' E	136km	M: 4.2
		1 根室市落石東*=0.7				
91	27 10 23	福島県沖 福島県	37° 23.4' N	141° 45.1' E	40km	M: 3.9
		1 浪江町幾世橋=0.7				
92	27 10 57	石川県能登地方 石川県	37° 31.1' N	137° 16.8' E	12km	M: 2.7
		1 珠洲市正院町*=0.5				
93	27 11 45	種子島南東沖 鹿児島県	30° 07.0' N	131° 20.6' E	24km	M: 3.9
		1 中種子町野間*=0.8 南種子町西之*=0.7				
94	27 16 31	瀬戸内海中部 愛媛県	34° 02.4' N	133° 03.3' E	14km	M: 3.0
		1 今治市吉海町*=0.7 今治市南室来町二丁目=0.5				
95	28 03 56	宮城県沖 宮城県	38° 28.0' N	142° 06.2' E	42km	M: 4.3
		2 石巻市桃生町*=1.7 1 石巻市雄勝町*=1.4 東松島市矢本*=1.4 石巻市大街道南*=1.3 大崎市古川三日町=1.2 大崎市古川旭*=1.2 大崎市田尻*=1.2 涌谷町新町裏=1.1 登米市豊里町*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.0 栗原市若柳*=1.0 石巻市泉町=1.0 登米市中田町=1.0 登米市迫町*=1.0 栗原市志波姫*=0.9 気仙沼市笹か陣*=0.9 登米市米山町*=0.9 登米市南方町*=0.9 東松島市小野*=0.9 栗原市栗駒=0.8 栗原市築館*=0.8 石巻市鮎川浜*=0.8 栗原市瀬峰*=0.8 気仙沼市赤岩=0.7 石巻市前谷地*=0.7 松島町高城=0.7 大郷町粕川*=0.7 女川町女川*=0.7 栗原市高清水*=0.6 宮城美里町北浦*=0.6 登米市東和町*=0.6 名取市増田*=0.6 岩沼市桜*=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.5 青森県 岩手県 1 階上町道仏*=0.5 1 釜石市中妻町*=1.4 住田町世田米*=1.1 釜石市只越町=1.0 一関市千厩町*=1.0 大船渡市大船渡町=0.9 北上市相去町*=0.9 一関市大東町=0.9 一関市室根町*=0.8 一関市藤沢町*=0.8 奥州市衣川*=0.8 盛岡市藪川*=0.7 花巻市石鳥谷町*=0.6 一関市東山町*=0.6 北上市柳原町=0.6 宮古市田老*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 一関市花泉町*=0.5				
96	28 11 50	石川県能登地方 石川県	37° 29.4' N	137° 18.0' E	11km	M: 2.3
		1 珠洲市正院町*=1.2				
97	28 12 55	茨城県沖 茨城県	35° 53.7' N	140° 52.2' E	40km	M: 4.5
		3 神栖市溝口*=2.6 2 鉦田市汲上*=2.4 茨城鹿嶋市宮中*=2.3 神栖市波崎*=2.0 茨城鹿嶋市鉢形=1.8 小美玉市小川*=1.7 小美玉市上玉里*=1.7 行方市麻生*=1.7 ひたちなか市南神敷台*=1.7 水戸市内原町*=1.6 鉦田市造谷*=1.5 東海村東海*=1.5 潮来市堀之内=1.5 1 行方市玉造*=1.4 土浦市常名=1.3 石岡市若宮*=1.3 稲敷市結佐*=1.3 稲敷市須賀津*=1.3 かすみがうら市上土田*=1.3 笠間市石井*=1.3 土浦市田中*=1.2 石岡市柿岡=1.2 水戸市栗崎町*=1.2 石岡市石岡*=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.2 かすみがうら市大和田*=1.1 大子町池田*=1.1 桜川市羽田*=1.1 笠間市中央*=1.1 つくば市天王台*=1.0 筑西市舟生=1.0 那珂市福田*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 つくば市小茎*=0.9 美浦村受領*=0.9 ひたちなか市東石川*=0.9 稲敷市伊佐津*=0.9 つくば市研究学園*=0.9 水戸市金町=0.8 大洗町磯浜町*=0.8 取手市寺田*=0.8 水戸市千波町*=0.8 常陸大宮市北町*=0.8 常陸大宮市山方*=0.7 城里町小勝*=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.6 高萩市安良川*=0.5				

令和5年2月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県 3 旭市南堀之内*=2.6 2 旭市高生*=2.3 香取市仁良*=2.2 旭市ニ*=1.9 多古町多古=1.9 旭市萩園*=1.9 東庄町笹川*=1.8 香取市役所*=1.8 香取市羽根川*=1.8 匝瑳市八日市場ハ*=1.7 匝瑳市今泉*=1.7 香取市佐原平田=1.6 香取市佐原諏訪台*=1.6 横芝光町宮川*=1.6 銚子市小畑新町=1.5 横芝光町栗山*=1.5 1 銚子市川口町=1.4 銚子市若宮町*=1.4 東金市日吉台*=1.4 九十九里町片貝*=1.4 山武市埴谷*=1.4 成田市松子*=1.4 香取市岩部*=1.3 山武市松尾町富士見台=1.3 山武市殿台*=1.3 山武市蓮沼ハ*=1.3 八街市八街*=1.3 山武市蓮沼ニ*=1.2 山武市松尾町五反田*=1.2 東金市東岩崎*=1.1 神崎町神崎本宿*=1.1 野田市鶴奉*=1.1 芝山町小池*=1.0 東金市東新宿=1.0 成田市役所*=1.0 市原市姉崎*=1.0 富里市七栄*=1.0 千葉若葉区小倉台*=0.9 成田国際空港=0.9 成田市名古屋=0.9 八千代市大和田新田*=0.9 長南町総合グラウンド=0.8 千葉美浜区ひび野=0.8 千葉稲毛区園生町*=0.7 栄町安食台*=0.7 一宮町一宮=0.6 千葉中央区中央港=0.6 君津市久留里市場*=0.5				
		福島県 1 いわき市三和町=0.5 須賀川市八幡山*=0.5 天栄村下松本*=0.5				
		栃木県 1 真岡市田町*=1.1 益子町益子=0.9				
		群馬県 1 渋川市赤城町*=0.6				
		埼玉県 1 上尾市本町*=0.5				
98	28 13 07	茨城県沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市宮中*=0.5	35° 53.5' N	140° 52.1' E	40km	M: 3.3
99	28 20 30	奄美大島近海 鹿児島県 2 瀬戸内町請島*=1.5 1 奄美市名瀬港町=1.2 伊仙町伊仙*=1.2 奄美市住用町西仲間*=1.0 瀬戸内町与路島*=0.8 瀬戸内町西古見=0.7 瀬戸内町加計呂麻島*=0.7 大和村思勝*=0.7 瀬戸内町古仁屋*=0.5	28° 01.9' N	129° 29.5' E	26km	M: 3.9

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 〈令和4年（2022年）3月～令和5年（2023年）2月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和4年（2022年）											
3月	172	71	19	8	1	1		1		273	16日 福島県沖（震度6強） （3月中：震度6強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：10回、震度2：26回、震度1：68回） 18日 岩手県沖（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （3月中：震度4：2回、震度3：3回、震度2：6回、震度1：11回） 沖縄本島北西沖の地震活動 （3月中：震度3：1回、震度2：7回、震度1：9回）
4月	113	45	9	7	1					175	19日 茨城県北部（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （4月中：震度4：2回、震度3：1回、震度2：8回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （4月中：震度2：4回、震度1：12回） 福島県沖の地震活動 （4月中：震度4：1回、震度2：4回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震3回を含む）
5月	97	31	17	3	1					149	22日 茨城県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （5月中：震度3：3回、震度2：1回、震度1：11回、能登半島沖で発生した地震1回を含む） 福島県沖の地震活動 （5月中：震度3：1回、震度2：6回、震度1：11回、宮城県沖で発生した地震2回を含む） 京都府南部の地震活動 （5月中：震度4：1回、震度2：1回、震度1：5回）
6月	121	44	13	3	1	1	1			184	19日 石川県能登地方（震度6弱） （6月中：震度6弱：1回、震度5強：1回、震度4：1回、震度3：3回、震度2：9回、震度1：30回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 26日 熊本県能本地方（震度5弱） 福島県沖の地震活動 （6月中：震度3：2回、震度2：3回、震度1：13回、宮城県沖で発生した地震5回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （6月中：震度2：4回、震度1：8回） 京都府南部の地震活動 （6月中：震度2：1回）
7月	89	35	9	2						135	石川県能登地方の地震活動 （7月中：震度2：1回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） 福島県沖の地震活動 （7月中：震度2：3回、震度1：4回、宮城県沖で発生した地震4回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （7月中：震度2：4回、震度1：1回）
8月	106	30	14	5	1	1				157	11日00時35分 上川地方北部（震度5弱） 11日00時53分 上川地方北部（震度5強） （8月中：震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：4回、震度1：17回） 石川県能登地方の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震5回を含む） 福島県沖の地震活動 （8月中：震度4：2回、震度2：1回、震度1：3回、宮城県沖で発生した地震1回を含む） 沖縄本島北西沖の地震活動 （8月中：震度1：1回）
9月	102	35	13	2						152	石川県能登地方の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：12回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（平島・諏訪之瀬島付近）の地震活動 （9月中：震度3：1回、震度2：2回、震度1：13回）
10月	96	29	12		2					139	2日 大隅半島東方沖（震度5弱） 21日 福島県沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度1：10回、能登半島沖で発生した地震2回を含む） トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）の地震活動 （10月中：震度3：4回、震度2：2回、震度1：5回）
11月	104	23	17	2		1				147	9日 茨城県南部（震度5強） 石川県能登地方の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：18回、富山湾で発生した地震7回、能登半島沖で発生した地震3回を含む）
12月	89	38	11	3						141	石川県能登地方の地震活動 （12月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：9回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
令和5年（2023年）											
1月	91	29	9	2						131	石川県能登地方の地震活動 （1月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震1回を含む）
2月	63	24	11		1					99	25日 釧路沖（震度5弱） 石川県能登地方の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：5回、能登半島沖で発生した地震を1回含む）
2023年計	154	53	20	2	1	0	0	0	0	230	
過去1年計	1243	434	154	37	8	4	1	1	0	1882	（令和4年3月～令和5年2月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈令和4年（2022年）3月～令和5年（2023年）2月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和4年（2022年）								
3月	957	168	24	2	1	1152	195	16日23時34分 福島県沖（M6.1） 16日23時36分 福島県沖（M7.4） 23日 台湾付近（M6.6）
4月	491	124	22	1		638	147	24日 千島列島（M6.2）
5月	459	76	18	3		556	97	9日 与那国島近海（M6.6） 22日 茨城県沖（M6.0） 23日 八丈島東方沖（M6.1）
6月	441	96	12	2		551	110	20日 台湾付近（M6.4） 21日 父島近海（M6.1）
7月	383	71	12			466	83	
8月	449	107	28	1		585	136	7日 北海道東方沖（M6.0）
9月	467	104	18	3	1	593	126	17日22時41分 台湾付近（M6.6） 17日23時45分 台湾付近（M6.0） 18日15時44分 台湾付近（M7.3） 18日17時09分 沖縄本島北西沖（M6.0）
10月	382	74	12			468	86	
11月	334	85	12	1		432	98	14日 三重県南東沖（M6.4）
12月	350	67	9	1		427	77	13日 奄美大島近海（M6.0）
令和5年（2023年）								
1月	333	60	12			405	72	
2月	306	62	6	1		375	69	25日 釧路沖（M6.0）
2023年計	639	122	18	1	0	780	141	
過去1年計	5352	1094	185	15	2	6648	1296	（令和4年3月～令和5年2月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和5年2月に長周期地震動階級*1以上を観測した地震は1回であった。

平成25年3月～令和5年2月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1											1

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和4年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202212/202212furoku_10.pdf

1. 令和5年2月25日22時27分 釧路沖の地震

長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2023年2月25日22時27分 釧路沖 北緯42度45.3分 東経145度04.5分 深さ63km M6.0				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
北海道	1	網走地方	斜里町本町	3
		釧路地方北部	弟子屈町美里	4
		釧路地方中南部	釧路市幸町	4
		根室地方中部	別海町常盤	4

長周期地震動階級1以上を観測した地域の分布図



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和5年2月に緊急地震速報（警報）を発表した地震1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は45回であった。

令和5年2月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
令和5年2月25日22時27分	釧路沖	6.0	5弱	5弱	13.0

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

平成19年10月～令和5年2月に発表した緊急地震速報の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)											2(104)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和5年02月25日22時27分 釧路沖の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和5年02月25日 22時27分43.6秒	釧路沖	42° 45.3'	145° 04.5'	63km	6.0	5弱

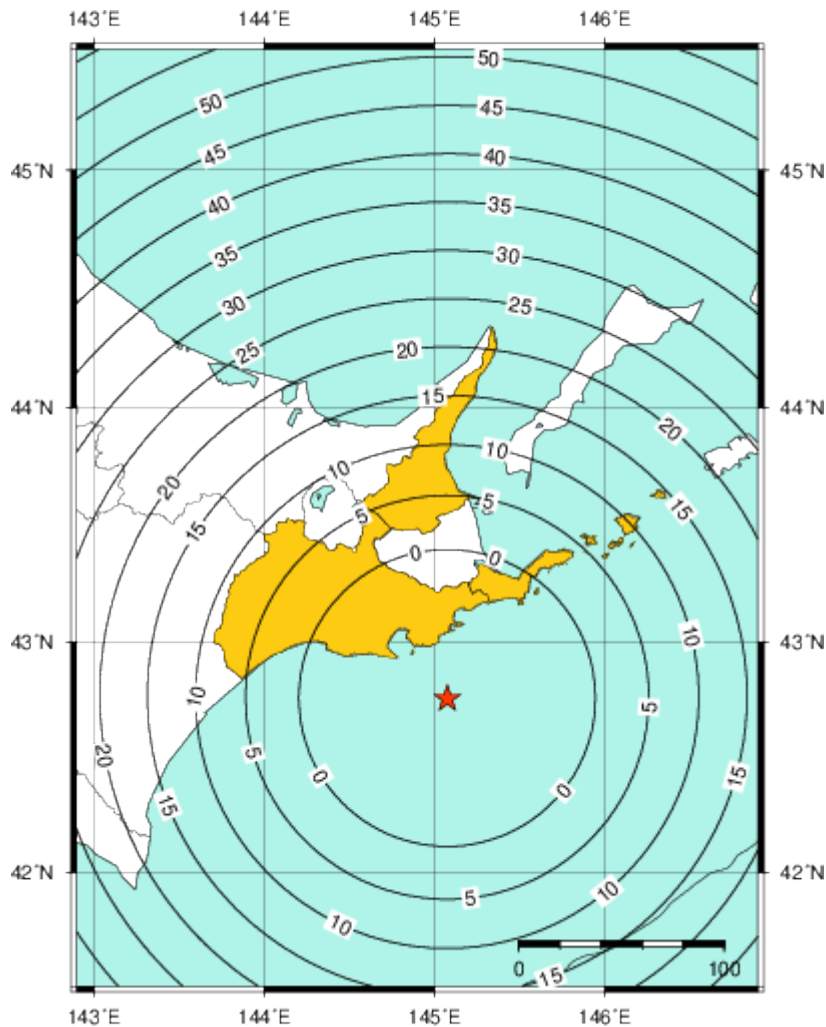
緊急地震速報の詳細

（緊急地震速報（警報）は背景が灰色[第9報]の時に発表）

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度 および 長周期地震動階級
地震波 検知時刻	22時27分54.5秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	22時27分58.6秒	4.1	釧路沖	42.8	145.0	80km	6.4	※1
第2報	22時28分00.4秒	5.9	釧路沖	42.8	145.1	70km	6.4	※2
第3報	22時28分01.4秒	6.9	釧路沖	42.8	145.1	70km	6.4	※2
第4報	22時28分01.5秒	7.0	釧路沖	42.7	145.1	50km	6.4	※3
第5報	22時28分03.4秒	8.9	釧路沖	42.6	145.2	70km	5.6	最大震度3程度以上
第6報	22時28分04.5秒	10.0	釧路沖	42.6	145.2	70km	5.6	最大震度3程度以上
第7報	22時28分05.4秒	10.9	釧路沖	42.6	145.2	70km	5.6	※4
第8報	22時28分05.9秒	11.4	釧路沖	42.7	145.2	70km	5.6	※5
第9報	22時28分07.5秒	13.0	釧路沖	42.7	145.2	70km	5.8	※6
第10報	22時28分09.4秒	14.9	釧路沖	42.7	145.2	60km	5.9	※7
第11報	22時28分10.4秒	15.9	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.0	※8
第12報	22時28分12.9秒	18.4	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.1	※9
第13報	22時28分14.0秒	19.5	釧路沖	42.8	145.1	60km	6.2	※10
第14報	22時28分14.8秒	20.3	釧路沖	42.8	145.1	60km	6.2	※11
第15報	22時28分20.4秒	25.9	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.2	※12
第16報	22時28分24.6秒	30.1	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.2	※12
第17報	22時28分44.1秒	49.6	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.3	※12
第18報	22時28分57.0秒	62.5	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.3	※12
第19報	22時29分06.0秒	71.5	釧路沖	42.7	145.1	60km	6.3	※12

- ※1 震度4程度 釧路地方中南部、根室地方南部、根室地方中部、釧路地方北部、根室地方北部、十勝地方中部
震度3から4程度 網走地方、十勝地方南部
- ※2 震度4程度 釧路地方中南部、根室地方南部、根室地方中部、釧路地方北部、根室地方北部、十勝地方中部
長周期地震動階級1 根室地方中部
- ※3 震度4程度 釧路地方中南部、根室地方南部、根室地方中部、釧路地方北部、根室地方北部、十勝地方中部
長周期地震動階級1 根室地方中部、十勝地方中部
- ※4 震度4程度 釧路地方中南部
- ※5 震度4程度 根室地方南部、釧路地方中南部
- ※6 震度5弱程度 釧路地方中南部
震度4程度 根室地方南部、根室地方北部
- ※7 震度5弱程度 釧路地方中南部
震度4程度 根室地方南部、根室地方中部、根室地方北部
- ※8 震度5弱程度 釧路地方中南部

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| 震度 4 程度 | 根室地方南部、根室地方中部、根室地方北部、十勝地方中部 |
| ※9 震度 5 弱程度 | 釧路地方中南部、根室地方北部 |
| 震度 4 程度 | 根室地方南部、根室地方中部、十勝地方中部 |
| ※10 震度 5 弱程度 | 釧路地方中南部、根室地方北部 |
| 震度 4 程度 | 根室地方南部、根室地方中部、十勝地方中部 |
| 震度 3 から 4 程度 | 釧路地方北部 |
| ※11 震度 5 弱程度 | 釧路地方中南部、根室地方北部 |
| 震度 4 程度 | 根室地方南部、根室地方中部、十勝地方中部、網走地方 |
| 震度 3 から 4 程度 | 釧路地方北部 |
| ※12 震度 5 弱程度 | 釧路地方中南部、根室地方北部 |
| 震度 4 程度 | 根室地方南部、根室地方中部、釧路地方北部、十勝地方中部、網走地方 |



警報第1報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図

★：震央

緊急地震速報(警報)を発表した地域